京城日報

朝刊と合せて八頁

定價 一部金二錢五厘 一ヶ月金五拾五錢 三ヶ月金壹圓六拾五錢 六ヶ月金三圓[illegible] 郵送料[illegible]
廣告料 五號活字一行金七拾錢 [illegible]
發行兼編輯人 [illegible] 印刷人 [illegible]
發行所 合資會社 京城日報社 京城太平通一丁目 電話[illegible]

大阪四箇二十七錢 高移 [illegible]

市場零聞

▲前場下放れ [illegible]

▲股入愈深し [illegible]

南大門廻着米 [illegible]

仁川米豆取引所 平均値段 [illegible]

列強大戰

▲親獨危機

羅馬尼內閣戰爭參加に反對する親獨傾向の諸大臣は辭職を提出し內閣は危機に頻せり（倫敦電報）

▲改造の聲 佛國內閣

佛國首相ヴヰヴヰアニ氏は內閣の二席を占むる重荷を感じ目下外相デルカッセ氏の後任選定問題銓衡中なり佛國內にて不平多く內閣改造の必要を說く聲盛んなり（倫敦電報）

▲勃軍擊退 佛塞兩軍の追擊

雅典來電に依ればストルムニツアの戰鬪は二十二日を以て終了し佛塞兩國の軍隊は勃軍を擊退して之れを追擊しつゝあり尙デデアガツチは既に事實上破壞せられたり（倫敦電報）

▲駐土獨使死去

獨逸駐土大使ヴアンゲンハイム男は死去せり男は奇策縱橫頗る怪腕を有せし外交家にして土耳其を誘致して歐洲戰爭に參加せしめ又た近頃迄勃牙利に滯在し勃牙利を獨逸側に加擔せしむる爲めに術策を弄し黃白を散じ實に之を成功したる人なり（倫敦電報）

▲墺軍露地占領

維納公報に依れば西部ガリシヤより北上せる墺軍はレンベルクを距る約百哩の露國コルキンを占領したり（紐育電報）

雜報

●丁抹公使通過

御大典參列の爲め北京駐劄丁抹公使夫妻二十七日午前安東驛通過內地へ向ふ（安東縣特電）

●王家天機奉伺

陸軍特別大演習御統裁の爲め東北地方に行幸中なりし聖上陛下御還幸あらせられたるに就き李王家にては二十七日午後二時使者を總督府に派して政務總監を訪ひ天機奉伺の傳達方を依囑せしめられたり

●天長佳節奉祝 宴會は慶會樓

十月三十一日は天長の佳節なるを以て山縣政務總監總督代理として總督官邸に赴き、午前十時より總督府並に所屬官署長以下一同の祝賀を受け十時三十分よりは更に同所に於て總領事、領事等各國使臣の祝賀を受けたる後、正午慶會樓に祝宴を張る筈なり、而して祝宴の次第は政務總監の挨拶に次で君が代の奏樂あり陛下の萬歲を三唱して模擬店を開く可く當日の來會者は例年通り各國使臣並官民有志等二千餘名に達す可しと

●朝鮮物產發送 御大典獻上品

大典獻殿の米、粟並に總督より獻納す可き朝鮮物產十三點は過般秘書官室に於て蒐集、何れも總督の閱覽を經たるより其れ〳〵容器に藏して嚴重なる包裝を施し特別品として秘書官等警護總督の東上と共に二十七日朝南大門驛を發したり

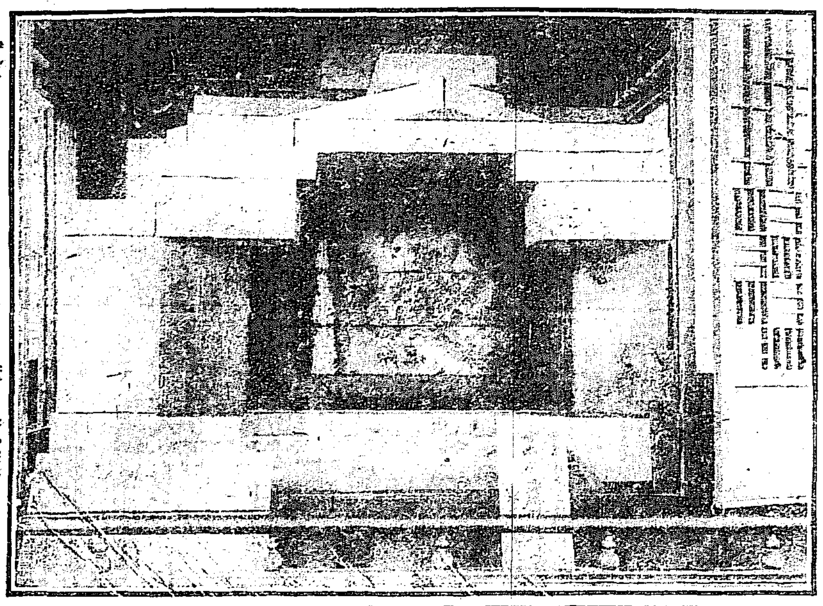
●神職任用令 勅令として發布

十月下旬發布されたる朝鮮神社、寺院規則に伴ふ神職任用令は勅令として發表さるゝ規定なるが、社寺規則の施行期たる十月一日は既に經過せるも任用令は未だ公布を見るに至らず、斯くては不便尠からざるより總督府にては曩に大塚第二課長を東上せしめ法制局其他に對して種々交渉中なりしが中央政府に於ても其事情を諒とし目下御裁中なりといへば遠からず御裁可を經て公布の運を見る可しと

●駐滿將軍通過談 滿洲駐屯第十七師團長 陸軍中將 本鄉房太郎氏

御大典參列の爲め東上の途中開城より同車せる記者に語る

▲所謂櫛風沐雨 滿洲にはもう冬が來た先日駐屯兩師團で別箇の演習をやつたが一方は開原と鐵嶺の間他方は金州と普蘭店の間で共に演習地に宿舍などないから天幕生活をやつたが附近の高粱は全部刈り盡してあるし山に一木なく田に一草無く然も確か十七日だつたと思ふ大暴風雨があつて所謂櫛風沐雨して兵士達へ此上ないよい鍛錬となつた冬は總て滿洲の全野に襲つて來てる譯だが一番寒い時が零下六度だつた以て推すべしちや何にしろ開原あたりさなると土民等が盛んに演習見物に集つて來るんだ其等の土民に機關砲の響きを聞かしてやつた乃公の現下の仕事は只部下の兵を養ふにある



平安南道江西に於ける高勾麗時代古墳石槨內の模型 共進會古墳模型館

▲馬賊のみかは 此秋も滿洲名物の馬賊の害が可成り彼方此方であつたが高粱が無くなると同時に消えてしまつた今では何處に行つたのか解らない位になつてる近來馬賊が大分日本人に慣れて來たものか今迄は支那人のみを襲つてゐたのが此頃は日本人をも襲ふ樣になつた併し馬賊許りを惡るくも言へない馬賊討伐に來た巡防隊や巡警などが隨分亂暴する泊り込んで掠ひをしなかつたり飲食して其儘にするのなど平氣なものなのだが其位は未だ恕すべしちや上の爲す處下之に倣ふのでもあるまいが滿洲の馬賊は到底討勦する事は出來ぬ然し又國體變更と云ふ一大轉機の後には或は多少何とか趣を變るかも知れないが今豫測する事は出來ぬ

▲軍人政論緩急 袁世凱氏の帝位に登る事は大分問題にもなつてる樣だが長い大きな者に捲かれ押されして遂にはどうにかなるのだらう之に就ては予にも意見はあるけれども今は言ふまい等で陸軍次官の時には必要にも迫られたけど今は其必要もないので一切政治論はやらぬ事にしとろ何でも次官時代に個人として貴族院に行つて大に說明的政論をやつた事もあつたが一體陸海軍共軍人及び軍屬が政治を論ずる事は出來ない事になつてるのだ然るに參政官なるものが出來て見るとそうも行かないのに依然之を軍屬扱ひにして政論の口を噤してゐたのが近頃參政官を限り政論を許す事になるらしい我意を得た事だ

●九月の經濟界 幾分回復の兆あり

其筋の調査に係る九月の朝鮮經濟狀況を聞くに、米界は厄日を無難に經過したる而已ならず、四圍の事情亦弱材料に充たされたる爲め價格益々低落せるも、地方の手持筋は成り行きに任せて放賣したるもの多く、大豆は那々乍ら出廻りを見るに至り、牛皮の取引亦好況を呈し且つ目先き多期の需用を控へて綿布、綿糸、石炭、雜貨の取引高をして著しく增加せしめ勞々同月の貿易は前月に比して輸移出は二十五萬圓輸移入は二百三十六萬圓の增進を示せり、而して民間預金は尙ほ從來の趨勢を革め得ざりしも貸し出しは前月に比して七十二萬九千圓を增加し不況乍ら幾分景氣恢復の曙光として認む可きものあり、銀行券の流通高も前月より百二十四萬圓を增加して三百萬圓臺となれり

●仁川九月中倉庫業

仁川に於ける九月中は米穀及び豆類端境期にある事とて一般に奥地よりの廻著減退の趨勢を持續し大豆の如きは出廻殆んど皆無の姿にして米穀市場は至極閑散の狀態を呈したるを以て本月在庫高は玄米四萬一千四百餘叺白米二千四百餘叺大豆一千七百餘叺を重なるものとし小豆、麥、糯米雜穀等合計五萬四千六百餘叺にして前月の六萬六千四百餘叺に比するときは一萬一千八百餘叺減少を示し以て如何に倉庫界の閑散期なるかを推知するに足る可し

□共進會入場者 廿六日（火曜日晴）

▲晝間 內地人 九千八百零四人 朝鮮人 三二、四一一 支那人 四二七二 其他外人 五八 無料者 二二、二〇五
▲夜間 內地人 四千百四十四人 朝鮮人 一、一二一 支那人 一九二二 其他外人 無料者 一、一〇二
合計 一萬三千九百四十八人
開場以來累計 七十七萬六千八百十四人

●仁川木材輸移入

仁川九月中木材輸移入は七千八百十五圓にて前月の三千七百二十六圓に比し著しく增大せるは元來本品の如きは追々閑散期に向ひつゝあるものなれば輸移入は漸次減退す可きものなるも本品は鐵類石油石炭等の如く需要供給の關係よりは寧ろ在庫品消化便等の都合により時々尨大の數額を顯す事あり猥りに需供を云爲す可からず價格は拂々しからず北海道松角（一才）挽角七錢杉角（一才）挽角二十錢なりき

●白井武官歸任期

陸軍特別大演習陪觀の爲め東上中なりし總督府武官白井陸軍少將は二十九日午前八時五十分南大門驛著汽車にて歸任す可し

●靑島電信線復舊

內地及び朝鮮より靑島に至る可き電信は數日前不通なりしも廿六日全部復舊開通したり

●京城中學校敎諭任命

二十六日附を以て左の通り任命ありたり

任京城中學校敎諭敍高等官六等 岐阜縣立斐太中學校長兼敎諭正七位 戒能義重

人事消息

▲滿鮮東京視察團 二十六日入京浦尾へ
▲中部鐵道管理局主催視察團 二十六日入京
▲山形縣東置賜郡視察團 二十六日入京滿洲へ
▲杉浦翠氏（愛媛縣技師） 廿六日入京不知火に
▲竹屋春光氏（子爵） 廿六日內地へ
▲森彥三氏（滿鐵理事長） 同上
▲金子圭介氏（前代議士） 廿六日來鮮
▲佐藤秀光氏（朝鮮皮革會社取締役） 廿七日內地より歸任
▲坂口行光氏（平北事務官） 腸窒扶斯加療中の處廿五日朝逝去
▲佐藤龜雄氏（大邱正金光中學校々長） 二十八日朝入京天然町敎會所に投宿
▲高橋茂久平氏（福中敎正朝鮮布敎監督） 同上
▲久永三郎氏（仁川府尹） 二十七日機業場開業式に出席の爲め入京

南言北語

獨逸は愈々食料に窮して來たと云ふ▲が獨逸の食料窮乏は既に度々傳へられたものだ▲內には麵麭の材料に窮して木の屑から麵麭を造つて居るなどの說も傳へられて居る▲兎に角列强を相手にして永い間の戰爭だから獨逸も最うソロ〳〵鼻の下が乾からびるに違ひない▲而うすれば愈々死物狂ひになるから何んな事を仕出かすかも解らぬ▲奈翁は遠征に糧を敵地に取る主義でドン〳〵進んだから一朝敗けると食ふ事も出來なく散々な目に遇つた▲獨軍も國內の食糧が乏しくなれば敵糧主義になるのだらう一番迷惑するのは臨戰地の人民で可愛想に野獸の如き獨軍に苦めらるゝ事が想像される▲近頃內地の新聞を賑はして居る大事件の多いのには驚く▲第一大阪の北濱銀行事件の判決は何うだらう實に開た口が閉がらぬ油斷もすきもあつたものではない▲次は石川縣の總選擧無效事件は何の事だ▲一人二人の選擧違反なら兎も角石川縣下全部の無效なんて前代未聞である▲のみならず此の事件が大審院に於て愈々無效の判決を與へられたならば▲石川縣よりも尙ほ薄い投票紙を使用した大分、鹿兒島、新潟、茨城、山梨、福岡の各縣も亦無效となるのだらうとは益々以て選擧界未曾有の大珍事が飛び出す譯だ▲其次に岡山縣の多額納稅議員の補缺選擧の醜態と來ては鼻持ちがならぬ▲之れでは支那の選擧も餘り笑へぬテ困つた事になつたものぢや▲と悲觀して坊主にでもならうとすれば眞言宗の本山も末法末世になつて▲住職世襲とか云ふ看板のもとに嚊を持たうと云ふ決議をした▲ヤレ〳〵右を向いても左を向いても何の事やら解らぬ▲其處になると朝鮮は好い氣候はよし景氣はよし[illegible]樣な事は探してもないから[illegible]

朝鮮總督府

一、石炭（塊炭）貳拾萬斤
右購買ス詳細ハ十月二十八日以後ノ朝鮮總督府官報ヲ見ヨ

法人登記公告

地方金融組合設立
名稱高陽地方金融組合、主タル事務所京城府竹添町壹丁目九拾番地、目的組合員ニ農事上必要ナル資金ヲ貸付スルコト。組合員ノ爲ニ預リ金ヲ爲スコト。組合員ノ爲ニ種子、種苗、肥料、農具、其ノ他農事上必要ナル材料ヲ購入シ又ハ分配スルコト。組合員ニ農具其ノ他農事上必要ナル委託ヲ貸付スルコト。組合員ノ委託ニ依リ其ノ生產物ヲ販賣スルコト。組合員ノ爲ニ其生產物ヲ倉庫ニ保管シ又ハ之ニ對シ倉荷證券ヲ發行スルコト。組合員共同ノ利益ノ爲ニ農事上ノ施設ヲ爲スコト。地方金融ノ調節ニ關シ朝鮮總督ノ命令アリタル業務ヲ營ムコト。農工銀行ノ業務ノ代理シ又ハ其ノ業務ヲ媒介スルコト。業務區域京畿道高陽郡及京城一圓トス、設立許可年月日大正四年拾月七日、出資[illegible]八拾四口金八拾四圓、出資[illegible]
[illegible]
右大正四年拾月貳拾五日登記
京城地方法院

朝鮮郵船株式會社 第七回決算報告（自大正四年四月一日至大正四年九月三十日）

借方之部
拂込未濟株金 [illegible]
所有汽船及艀船代價 [illegible]
建物代價 [illegible]
什器 [illegible]
貯藏品 [illegible]
保險料 [illegible]
未經過保險料 [illegible]
貸金勘定 [illegible]
銀行勘定 [illegible]
支店勘定 [illegible]
各所勘定 [illegible]
政府勘定 [illegible]
合計 [illegible]

貸方之部
株金 [illegible]
準備積立金 [illegible]
船舶大修繕積立金 [illegible]
支拂手形 [illegible]
預り金 [illegible]
支拂未濟配當金 [illegible]
決算勘定 [illegible]
前期繰越金 [illegible]
當期利益金 [illegible]
合計 [illegible]

利益金處分
內
準備積立金 [illegible]
別途積立金 [illegible]
役員賞與金 [illegible]
配當金（年七朱） [illegible]
次期へ繰越金 [illegible]
合計 [illegible]

右之通候也
大正四年十月二十六日
取締役社長 原田金之祐
專務取締役 吉田秀次郎
取締役 堀力太郎
取締役 深尾隆太郎
監査役 松崎文六
監査役 山口太兵衛
右調査候處相違無之候也
相談役 男爵 近藤廉平

家庭博覽會入場者に限り（場內の賣店にて）定價の貳割引にて差出します

辱 皇后陛下 各宮殿下 御嘉納

國民新聞社編 定價五十錢 郵稅八錢本社負擔

理想の家庭

內容一斑

▲理想的家庭 德富猪一郎氏 ▲敎育 下田歌子女史 ▲結婚 鳩山春子女史 ▲育兒 瀨川昌耆博士 ▲衛生 吉岡彌生女史 ▲交際 山脇房子女史 ▲住宅 伊東忠太博士 ▲中流の納戶と裁縫部屋 羽仁もと子女史 ▲室內の裝飾 井上秀子女史 ▲庭園 長岡安平氏 ▲園藝 鈴木武太郎氏 ▲臺所 入澤博士夫人 ▲家庭料理 赤堀峰吉氏 ▲家庭經濟 嘉悅孝子女史 ▲衣服 堀越千代子女史 ▲洗濯 宮川壽美子女史 ▲下婢の使方 加藤博士夫人 ▲家庭の娛樂 巖谷小波氏

本社は現代斯道専門の諸先生が我國家庭の改良向上を圖らんが爲に住宅の建築構造より、育兒、衛生、家事、經濟の事に至るまで、家庭に必要なる百般の事項を細大漏さず叮嚀親切に講述執筆せられたものであります。加之前記各題目の後には家庭便覽として家政上最も大切なる種々の心得を記載し、尙諸先生考案物の鮮明なる寫眞版を挿入してあります。主婦計りでなく家政研究中の女學生諸孃の、是非共一冊を左右にせらるべき最新刊の良書でございます。

大取次所 京城太平通一丁目 振替京城三〇〇番 京城日報社代理部

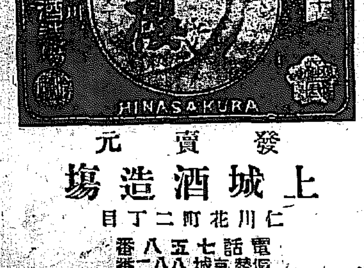
：家庭の重寶：婦人の顧問：

家庭雜誌

御大禮記念貯金（記者）
生活の基礎は細事に在る（江原上院議員）
△外人に嫁した外國婦人の家庭談 △幼兒に與へる玩具の選び方……
勝手口から見た箕浦相遞の生活
△名流婦人日記（[illegible]）△主婦としての大阪の女…伊賀夜長
趣味を基とせる室の整理（手塚かね子）
實行しやすい安價生活（新田博士）
家庭に必要な趣味生活（佐々木文學博士）
△十人の子を育てる苦心…橋本夫人 △虎と狐（童話）……高木敏雄
阿能の局（講談）……清草舍英昌
△鏡山のお初（實說）……[illegible] △鷄一羽で六人を馳走する料理……
財産を横領された經驗
風變りの家に嫁入して苦勞した婦人の實驗談

十一月號 定價拾錢 郵稅一錢五厘 東京 博文館 賣捌 全國各書店

御大典奉祝 御用酒
白酒 黑酒



發賣元 上城酒造場
仁川花町二丁目
電話五七八番 振替京城八二八番

總督出發 南大門驛頭の壯觀

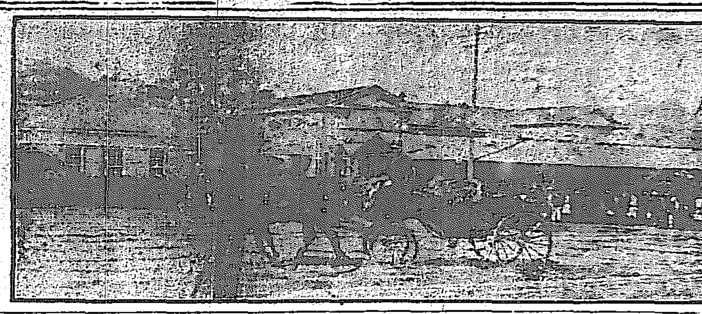
京都に於ける曠古の御大典に參列すべき寺内總督及び同夫人は二十七日午前十時五十分南大門出發上京の途に上りたり、此日總督の馬車は騎兵中隊長の指揮せる

■儀仗騎兵 の一小隊に護衛されつゝ朝曦照々たる都大路を進めば南大門外の兩側には府内各學校生徒及び歩兵第廿五聯隊、朝鮮歩兵隊の各一箇中隊堵列し、又見送者の車馬も絡繹として到り驛頭時ならぬ壯觀を呈す軈て總督の馬車南大門驛内

■貴賓室前 に到着すれば陸軍大將の正服著けし寺内總督は莞爾として車を降り驛内貴賓室に少憩す、此の間總督見送の爲めに參集せる人々は先づ李王殿下御使、李王妃殿下御使、李太王殿下御使を始めとし朝鮮貴族の一團、京城駐在外國領事支那領事等一々

■貴賓室に て挨拶あり猶ほ總督府各高等官を始め渡邊高等法院長、城覆審法院長、豐永中央試驗場長、吉原東拓總裁、古海參謀長等の挨拶に次で市内各實業家、僧侶、宣教師、通信員等の挨拶あり斯くて定刻に近づくや山縣政務總監、森海軍武官、大藤副官、大屋鐵道局長官等を隨へたる寺内總督は一瀨驛長の案内にてプラットフォームより第四號

■特別列車 に乘車し總督夫人も亦夥多の外國領事夫人及び總督府各高官夫人等に見送られつゝ車上の人となれば汽笛一聲汽車は南釜山に向つて去る猶ほ山縣政務總監以下總督府各高官は釜山迄總督を見送れり



又復停電 木下支配人村尾電車課長交々語る

二十五日晝間に故障を生じて電車運轉不可能となり電燈消滅したるが二十七日に至り又復電車の運轉不能なるに至れり此れがため會社も約六七百圓の損害なるが從來發電所には大小各二箇の吸水ポンプを發電機の冷却用に用ひ居たるに二十五日大形ポンプ一個に故障を生じ應急用として豫備小形ポンプを使用したるに廿七日朝に至り又復其ポンプに故障を生じ汲水力弱く遂に平素の電車運轉車輛數六十臺乃至六十九臺なるを四十二臺に減じ辛じて全線に運轉を續けたれど九時十五分頃全然停電せり折柄殘りの大形ポンプも折惡しく修繕工事中とて此停電の急に備ふるを得ざりし會社にては此際市民に迷惑を懸くる心外の至りなりとて二十五日來晝夜兼行技術者は寢食を忘れて復舊工事に從事し居れど未だ機械の故障箇所を發見せず（二十七日午後零時半）されど今夕迄には大形ポンプ全部の修繕を終り電車運轉及び電燈等にも故障を來たさゞる豫定にて二十八日夕に至れば大小四個のポンプ全部復舊し完全に送電し得可しと右前後二回の停電のため電力の供給をうけ居れる東亞、廣江、東西、朝鮮等の各工場は事業を休み共進會内機械館の機械運轉も二十七日は休止したり

能樂大會 有樂館にて二日間 京城空前の催し

今回朝鮮物産共進會觀覽として全國に有名なる金澤市の佐野吉之助外十餘名の能樂家は二十七日來京したるを機として京城能樂會に於ては此機會を以て能樂開催の交渉したる處同一行の快諾を得たるに依り觀世流寶生流喜多流の各師範連發起となり來る三十日三十一日の兩日京城有樂館に於て能樂會を催す由過日來既に金澤より原與十郎氏東京各流有志と準備打合せ等奔走中にて近來謠曲大流行の折柄なれば定めて盛大ならん因みに佐野吉之助氏は寶生流の有名なる大家にして先年東京前田侯爵邸にて能樂催されたる節家元寶生九郎先生と共に恐れ多くも天覽を賜りし程の人なりと又太鼓小鼓等も家元觀世新三郎幸流佐野友吉氏も來會する由

李王殿下月谷里農園の御歡興 妃殿下へ葡萄の美果を御土產

月谷里の李王職農場と言へば數年前まで景福宮にあつたのをそつくり移して來て本田博士がその蘊蓄を傾けて設計した三十町餘りの大農園で汪濊たる場内には八方に道が通じてゐて自動車、馬車が自由自在に通る事になつてゐる、少し時が遲れたけれども手入れのいゝ園内には遙かに梨、林檎、葡萄などの濃紫、淡黃、猩紅色などの艶なしい果實が累々として枝も撓はに垂れ下がつてゐる、李王殿下には常々から是非一度農場に行きたいとの御希望であつた折柄去る日洪陵參拜の砌り、駕を枉げて立寄られた、御附の李王職高官並に李埈公、李海昇、李海昌、朴泳孝、李載覺の各侯爵、閔泳徽子等の御親族、李完用伯爵、趙重應子在京中の貴族は悉くお供を申し上げたが農場では之等の人々に午餐を賜はつたのち果樹畑にお立ち出でになり御自身鋏を執つて葡萄の類を採取遊ばされると同時に一同に對して『自由にとつて持還れ』と仰せ出されたので一同否も否もと葡萄棚の下、梨畑の間などに入り込んで思ふがまゝにちぎり取り籠に收めたので殿下に於ても、いとも御興深く思召され至極御滿足に見えたが斯る場合にも御孝道深きみこゝろは御父君李太王殿下の上に及ばれ御手づから御採取の果實を德壽宮、並に當日御留守居申し上げたる妃殿下にお土產に持ち還ると仰せられ美しい籠に盛つてお馬車の中に入れて德壽宮に向はれたのは美しくもお優しき事と當日供奉した一人の權藤李王職事務官の話

妓生競爭 寶探 琵琶 大福引 是非家庭博へ

成功デー晝夜の賑ひ 奇拔なる催しの數々

京城協贊會主催の『共進會成功デー』たる二十七日には朝鮮特有のあはたゞしい寒さが襲來して來た

▲澄み切つた大氣 は水の樣、一碧拭ふが如き空は鏡の如く、道行く人は綿入れ羽織、冬服に身を固めて、美しい紗のパラソルが邪魔な程、浴衣、白服で共進會見物に出掛けた開會當時から見れば大した氣候の變り方である、其れも其筈、内外の注目を集めた道の大共進會も最早餘す所四日と爲つたのだ、共進會を既に一度見た人、まだ見ぬ人は一時も猶豫ならぬ時となつた、其時に此協贊會の奇拔にして興味深き催しがあるといふのだから、少し位の寒さ等何とあらう、共進會見物の群衆は相ひも變らずぞろ〱と光化門通りに打續く殊に

▲寒いと云つても 未だ十月だ、晝頃からは春中に照り付ける日光、氣持ちよく暖かに、正門内の噴水から各陳列館の各部は二度と見る事が出來ぬものだからと何れも落付いて叮嚀に見て行く人で一杯慶會樓

▲階下の菊花陳列 も氣候に適し色も香もしく嬉々として出入する觀客絶えず、午後一時からは『成功デー』の催し物たる福包みの餅撒き、賣店飲食店の大假裝行列、朝鮮人の綱引、入場者豫想投票が始まるそれに演藝館は毎日一二三等の大當り入りの福引があるので忽ち滿員、何樣何處へ行つても賑しいことである殊に

▲今晩から演藝館 には天勝の『新らかれ胡弓』その他の奇術がある、仕掛煙花もある、午後から夜にかけても夥しい人出を見ることであらう

店員職工デー

三十一日京城協贊會主催の店員職工慰勞デーには成る可く多數の店員職工の來場を歡迎する由にて入場者は夫々の商店又は會社の名刺に捺印を受け持參せば演藝館は各等半額とし別に元の角力館内に於て茶菓を饗應すべしと

妓生競爭 今夜と明晩の家庭博

今夜は八時半から＝明晩は七時半から

家庭博に乘り込むで奇想天外の催しをやります、即ちいたいけしい此滴る樣な水色の長い裳を曳いた美人揃ひの茶洞組合の妓生三十名は今夜妓生達は家庭博樽内の後庭で徒歩競爭を行るのであつて手振らで走るのでなく赤の酸漿提灯を翳さして五百坪に餘る後庭を一週し勝つたものには夫れ〱賞品が出る、最初は三十人を五組に分ち、五人宛競爭をして其第一着となつた妓生六人が各組の選手となりこゝに一大選手競爭を行ふので瀟洒な姿の妓生が赤い提灯を携へて群がる見物の中を押し分けていそ〱と走る樣は面白くも亦美しい事であらう此奇拔な催しは今夜は八時半から明二十八日の夜は七時半から始まります

今夜の琵琶彈奏會 七時半から家庭博にて

何がさて筑前琵琶の大家坂井旭翠師に夫れから京城筑前琵琶界の牛耳を執つてゐる旭扇會の東原旭扇女史等が毎夜七時から家庭博後庭に出演することなので毎夜の人氣は素晴らしいもの斯る名家の彈奏は年に一二回開かれ大會以外には聞くことの出來ない大演奏會であると云ふので毎夜開會前から先きを爭うて待つて居ると云ふ有樣今夜も七時半から開會することになつて居るから少し早い目に入場されたいものだ

山と積んだ大景品は 四日の間に誰の手に入る乎

愈々アト四日となつた、泣いたつて笑つたつて此四日の間に見て置かねば一生の間に見る事の出來ぬのは家庭博だ、京城の人の中にも稀れには忙がしかつたので未だ見ずに居ました、斯う迫まつて來ては何はさて措いても見ずに居ては京城に居たと云ふ事が出來ませんと云ふので今日此頃は慌てゝ見に來る人も多く、二度三度來た人も最後の思出に今一度と云ふ人も多く入口で運試めしの籤を引いて來るわ來るわ、朝から晩まで引つ切りなしの大賑ひ夫れに呼物の福引が面白い程出るのだから堪らない正眞正銘の現金の入つた一等から四等までの木籤の外番外の臨時寄贈品は幾萬點もあるが之れも四日間の内に片付けて終はねばならぬだから高價な奇拔なもの丶當り籤が滅法多く殖えた、空籤一本なし所でない上等籤の當り通しで引換係りなど『斯う好いものが當つては惜しい位だ』と云ふ位、夫れでも景品引換所の陳列棚には種々の景品が堆く積んで山の如く、之れから後四日の間に始末されるのだから之れからの入場者にはお慰みだ

寶探し 二十八日も 午後三時から始まる

寶探し！這麼面白い興味の深い催しはない、家庭博後庭の五百坪餘りの内地の中か、地の上か、庭園の芝生の上か、兎も角も一等五圓以下十等までの寶を解りよい木札にして蔭くしてあるので、大人でも小兒でも婦人でも誰れでも探すことの出來る興味の深い遊びで、『早く探したものが偉らい』など十人餘りの家族連れが運動會代はりにするもある、明二十八日は午後三時を合圖に鈴が鳴ると始まつて五時に終りますから是非來て御覽なさい面白い事は此上もありません

婦人畫報

◎十一月の卷　定價金貳十五錢　郵稅貳錢

美人繪附錄　ゆく秋……女史

□御大典と婦人……井上博士
□人間的娛樂……桑木博士
□新婚旅行の首途に……片山博士
□煩悶になやみ訴へた婦人……綱島佳吉

（畫報）□莊嚴なる御大典の御儀　□御渡鮮の閑院宮兩殿下　□英皇太后の尊き御握手　□新郎の安藤子爵と夫人　□德川公と三令孃の參拜　□伊達侯と德川伯の庭園　□鍋島侯邸の東洋婦人會　□三門秀作家の文展出品　□紅葉館のお茶の會　□毛利安田須田三家の衣裳の結方　□御大典に因む帶の形　□御大典に因める髮型　□御大典に因める料理　□花の日會の準備　□百歲以上の三長壽老媼　□新來の露國一寸法師　□各女學校の秋季遠足會　□この外花の如き令孃夫人合等二十餘頁

□山の神……大町桂月
□貞操ある女……原胤昭
□美人傳……長谷川時雨
□臺所日記……日露子
□食卓の晚餐……小笠原倉
□晚秋のお化粧……小口みち
□婦人の内職……婦人記者
□女子の進路……新渡戸博士
□風邪の引き法……緒方博士
□遺言は尊重すべきもの……大隈博士

我家の間取　□家族本位の間取り……入澤博士夫人　□どの室内にも光線……松山春子　□不便の間取り……富永博士夫人　□新築後見出した缺點……桑木博士夫人　□身分相應の室内裝飾……見花

東京京橋銀治橋外（振替壹壹八壹八番）發行所 東京社（婦人畫報・少女畫報・日本幼年）　賣捌 全國各書店

於始政五年記念共進會

銀牌受領の

光榮を負ひ候は全く江湖多年の御眷顧に依る事と奉深謝候一々拜趨御挨拶可申述の處目下小生病氣にて總督府醫院へ入院中に付乍略儀紙上を以て御厚禮申上候

京義線黃州

明治醫會

穗坂秀一

かぜねつに罹れる諸君はハカリ印のヘブリン丸を用ゐて全快せらるべし
●各地藥店にあり

金露

攝津灘 大塚釀造所吟製

京城本町四丁目　發賣元 前田酒店　電話一三七番　振替口座四二五

商況

日本郵船……七五、〇〇……七五、三〇

東京債券現物特電

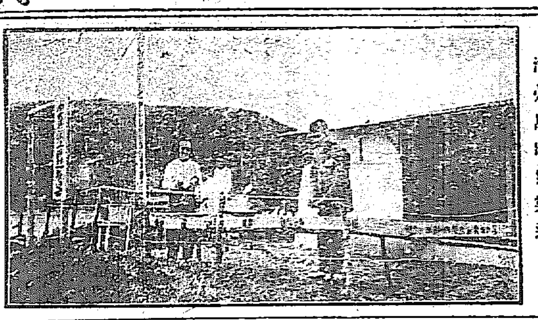
大阪期米特電

各銘共に多少の高下ありしのみにて引續き一息の姿なるが月末に際し何れ一波瀾あるべし

天氣　北又は西の風晴

大典獻上明鮑 今村島司談

十一月の大典に際し總督府から宮中に獻納せらるべき明鮑の製造を我濟州島に指定せられ本島では之を南沿岸の中央部にある西歸浦に於て製造する事に確定し同地に於て多年乾鮑製造事業を經營せる斯道の經驗家中村又左衛門に指定し愈製造に著手する事とした


濟州島明鮑製造

▲抑我濟州島は古來鮑の産出豐富なる點に於て又其形狀の飛び放れて大なる點に於て朝鮮全道中其右に出づるものなく昔から沿岸百餘箇村に居住する幾萬人の鮮人海女が深き海中に潜り入つて之を採捕する事盛に行はれ其産額も侮るべからざる數に達して居たが今より約廿五六年前から山口縣、長崎縣等より漁業者が潜水器械を据え付けた漁船を引きつれ來り是迄海女の潜水力の及ばぬ深所に棲息する鮑の採捕に從事したる所何がさて昔から手を入れた事のない海底なれば其の採捕される事夥しく僅々數時間一人の潜水夫が作業すれば四斗樽に十二個も採捕するといふ盛況にて全で鮑ばかりがかたまりを爲し鮑の上に鮑が重なり其横に群小の鮑が附著するといふ有樣其殼の大きさに於ても最初內地人が此事業に手を付け始めた頃は直徑一尺以上の大いものを發見する事毎日の如くであつたといふ事である然るに無制限に潜水機を許したる爲め甚しき濫獲に陷り著しく蕃殖を害し産額減少の傾きありたるより總督府は潜水器の許可臺數に制限を加へ又採捕禁止期限と其大さとを定め冬季四箇月の鮑の子供の蕃殖時期には採らせぬ事にしたのは誠に適法を設けたものといはなければならぬ

▲西歸浦の前の海面から東約三里に組島といふ一小島があるが茲に産する鮑は其形體の大に加ふるに殼は丸型肉質厚く明鮑の原料としては我朝鮮では是以上の原料はないのであるおまけに西歸浦は全島中水質の最も佳良なる內に數へられ且つ同地は西歸川沿岸の高丘上にあり空氣清潔風光佳絕御大典獻上用の明鮑製造地としては是以上の適地はあるまい又製造場主たる中村又左衛門及び鶴松父子は資性著實温順寡默で能く事理を解し加ふるに鮑の製造上の技術に於ても同島中屈指の人物なればこそ此人を見込んで指定した次第で中村父子は此度の御用命を以て無上の光榮となし新たに瀟洒たる一製造場を建築し釜、蒸籠、焙爐其他の諸器具を新に調製し一箇月以前より鮑の大なるものばかりをよりわけて蓄養し製造の著手を喜びく待つて居たのである所が本道よりは林水産技師を派遣され同技師は斯道の經驗家姫野呈次郎氏を從へて先月末著島され本月三日から愈製造にかゝつたのである(未完)

御神體と御神殿

嚴報の如く群山神社建設工事は著々進行中にありて土工事も略ぼ完成し社務所も來月四日頃には落成の見込にて御神殿建物一切の附屬品は共に二十五日伊勢山田より著群し一兩日中請負人は職工數名を率ひ來り直に組立工事に著手すべく來る十一月十日御大典當日前には是非共落成せしむべき豫定なりと因に御神體は去る二十二日神官杉野満道氏之を奉持し著任したり

家庭博後庭の遊動圓木と藝妓

北鮮と露領鰊

北鮮地方にては最近二年間に於ける明太魚不漁の爲め樺太及び露領沿海方面より鰊魚輸入激增し特に露領産鰊魚の輸入甚しく現に本年の如きは其數八百餘萬尾價格四萬六千餘圓に達し之れが爲め明太魚の賣行に莫大なる影響を蒙り居れるが最近に於ける鮮人間の新傾向として寧ろ從來の明太魚よりも却て露鰊を好む狀態なれば若し此儘に抛棄し置く時は露領鰊に壓倒せらるゝのみならず鰊は鮮人の嗜好に適し價格低廉なれば明太魚に取りては非常の打擊なりと當業者は語れり

群山官民協議會

天野群山府尹は群山重なる官民數十名を二十五日午後一時より府廳樓上に招集し御大典奉祝方法群山神社維持方法天長節祝賀方法等に關し協議する所ありしが一、御大典當日午前全府民は群山神社に集合し遙拜奉祝の式を行ふ事二、御大典當日午後府民は小學校前庭祝賀會場に會合し成る可く會費を低減し多衆の會同を期し盛大なる奉祝賀宴を催す事二、市內要所には大綠門を設置し徹夜燈花を揭ぐる事三、各戶奉祝提灯國旗を揭揚するは勿論なるも各町々の裝飾餘興其他の催等は各町各團體の任意とし成る可く盛大に行ふやう奬勵する事等を決議し天長節祝賀方法に關しては當日午前府廳樓上に官民會合し祝賀式を行ひ常夜官民合同の大祝賀宴を催す事に確定し群山神社維持方法に付ては現在の建設委員五十名を氏子總代に選定し神官俸給其他神社維持費に當つる爲め一般府民各戶より毎月五錢十錢二十錢の等級を以て講金收納の事に決議し散會したるは午後六時なりし

咸南牛皮騰貴

昨年來露國軍需品の注文頻々たる結果一般牛皮の騰貴を來せるが特に咸南産の牛皮は其の品質優良なる點より內地に於ける登價甚だ佳良なるを以て近郡附近より集まり來るものも甚だ多く從つて輸移出額も他地に比し多額なるものあり現に本年一月より六月末に到る上半期には八萬六千七百二圓を示し尙ほ最近の注文增加は一日三千百圓の爲替取組ありし有樣にて客月の如きは二萬一千六百二十八圓の爲替取組高を示せり因みに牛價は漸次高騰の傾向ありと

大好評!!
演藝館福引 卅一日迄日延べ
仕掛大煙火 卅一日迄毎夕
京城協贊會

虎島牡蠣採取成績

咸南虎島附近の漁場に於ける近況を聞くに當春勃發せる採取問題が圓滿なる解決を告げし以來鮮漁民は營々として從事しつゝあり本年も漁期に入りてより鮮漁民は從來の如く牡蠣の採取に從事し居れるが近來の採取成績頗る良好にして漁家一軒にて毎日多きは三鑵を採取する狀況なれば漁場主に有りては之れが賣捌きに困難を感じ現に莫大の牡蠣を腐敗せしめつゝありと

繰棉初移出

木浦三棉業會社は既報の通り去二十日より其々工場を開始し昨二十三日解纜の宮島丸にて繰棉六百十三個を積出したるが之れ今期に於ける木浦繰棉の初移出なり

王家土地賣却

全南海南郡慶善宮所有の畓五千餘斗落の競爭入札は昨二十三日午前十一時木浦府廳に於て李王職より山村、藤間の兩屬出張し入札に附したるが第一、第二號は忠淸北道に所屬するを以て第三第四號のみに就て施行したる結果第三號地は豫定價格に達せざりしを以て更に再入札に附するに決し第四號の海南郡門內面の畓一千四百八十四斗落は一萬四千四百六十圓五十二錢にて朝鮮興業株式會社に落札せり

連絡船上陸客

廿六日午前入港弘濟丸一二等客

一等なし 二等(廿三名)小野一三、足立重次、五百木徳五郎、國友幹次郎、大津二郎、魚住龍吉、川上すき、永井博、曾山寅吉、東原三郎、日比野朋吉、田中榮一、同三郎、吉武源五郎、太田久作、同武、同きみ、高島のぶ、長谷川大郎、大岡政介、石井好太郎、松島忠三郎(三等百六十一名)

廿六日午後釜山入港新羅丸一二等客

一等(十名)寳出金三郎、佐藤喜一郎、森能藏、竹田鐵太郎、金子圭介、佐渡秀光、岩橋林造、植上事次郎、外人二名 二等(十二名)齋藤弘太郎、松本五郎、森田かつ、九鬼千代治、木村錦吉、齋藤呂一、堀溝英三郎、本間廣治、[illegible]、同ます、高橋、[illegible]三郎、三浦五十九名

演藝案內

壽座 電話五七八 日活 京劇 ▲十月二十五日より封切大寫眞提供「若三次」上中下三卷七十五場 [illegible] ○伊太利チネス會社大探偵活劇「幽靈組」上中下 [illegible]

黃金館 黃金町四丁目 電話二六三七 [illegible]

龍光館 龍山停車場前 電話(龍山)四一番 [illegible]

佐久良座 龍山 新派「家庭教育劇」大橋幸太郎一行 十月廿七日替り藝題(七回目) 大阪每日新聞連載小說 菊池幽芳作「小ゆき」 [illegible]

御成座 御成町 電話二九一番 第四十五回替藝題 (一)大活劇 千拾壹番 全十場 (御招待では始めて演じます) 大人 小人 [illegible]

大正館 櫻井町 電話八七三番 [illegible] ○新派悲劇「瀧の白糸」全三卷二十六場 ○泰西奇譚「死の階段」 ○怒濤喜劇「猪天吉松」 [illegible]

有樂館 本町 電話二六六番 新築落成 十月廿二日より同廿六日まで五日間毎夕正六時開演 ◎松旭齋天勝一行の大魔術 [illegible]

浪花館 明治町 電話二六〇番 廿六日より毎夜六時開演仕候 ▲初日演題 義烈百傑 赤穗快擧錄 徳川天一坊 塩原多助 [illegible] 岡田千代子 虎丸

兩京去留誌

簡淨疎宕なる山川人物の描寫 明快透徹なる朝鮮側面の觀察

蘇峰學人著 平福百穗、山下鉤、備田櫟村、柳田謙吉、前川千帆(五氏畫)

本書は著者が朝鮮併合(明治四十三年九月)より今年夏に至る迄、五箇年に亘り屢ゝ東京、京城間往來の際に成りたる文章を收輯したるものなり。著者の兩京間を往來するや其の幾回なるかを知らず。而も其の往來每に感興愈ゝ新鮮にして、其の秀警の觀察と獨特の靈筆を揮つて兩京間の天然と人事を叙するや、雲烟飛動し人物躍如たるもの固より其の所なり。而して記する所單に兩京に止らず、或は途中過眼の光景を記し或は觸目の偶感を叙す。不用意の文字眞情流露し、而も簡淨疎宕小品の妙を極む。特に『雲養集を讀む』の一文は、朝鮮の碩儒金允植子の人物と文藻を解剖して剩す所なく、『朝鮮統治の要義』は五十頁に亙る長文にして、著者の朝鮮統治に對する經綸を吐露して萬丈の光焰を揚ぐ。加之、平福百穗氏を初め諸畫伯の繪畫は皆實境に臨んで描く所に係り、咄々眞に逼るの妙あり。其他各地の風景、名流の筆蹟等悉く本書の爲に特に撮影し、若しくは著者の爲に特に揮毫せられたるものにして、凡て三十二葉の多きに上り、製版印刷倶に異曲同巧の出來榮を呈し、著者の文章と對照して興味津々たり。裝釘は總クロース上製となし、表紙に朝鮮の古甕を打出し、表題は金文字を以て唐太宗帝書の古拓本より抽出したるものを用ふ。體裁淸雅高尚にして眞に几上の淸賞に堪へたり。今や節新秋に入りて燈火親む可し、請ふ幸ひに愛讀を賜へ。

記事內容一斑

◎沿道所見 新橋より京城(一…七)◎短信三片 [illegible] ◎朝鮮各地の視察◎秋晴一百五十里 [illegible] ◎一路寒風吹黄霜 [illegible] ◎一年兩度の櫻花 [illegible] ◎一年の好季節 [illegible] ◎愛吾廬雜信◎訪人訪昔の旅行 [illegible] ◎赴熱旅行 [illegible] ◎双京幾往還 [illegible] ◎往來二千日 [illegible] ◎愛吾廬記(子爵金允植記)◎雲養集を讀む(一…十)◎朝鮮統治の要義(一…十)合計十五篇一百二章二百七十四頁

繪畫寫眞目次

◎海峽航行中の著者(三色版)◎在慶州新羅武烈大王陵碑龜趺(寫眞版)◎北漢山(ジンク版)◎洗劒亭(ジンク版)◎漢江(ジンク版)◎子爵尹德榮氏別墅碧樹山莊より南山を望む(三色版)◎愛吾廬に於ける冷淡の生活(寫眞版)◎愛吾廬より仁王山を望む(三色版)◎淸凉里(木版)◎昌德宮秘苑(木版)◎山縣總監の自書自贊(寫眞版)◎朝鮮街(木版)◎明石中將の自書自贊(寫眞版)◎鮮人の天長節(ジンク版)京城獨立門畔城壁上の大銀杏樹(寫眞版)◎獨立門外廢寺の五輪塔と著者(寫眞版)◎諸名流筆蹟(寫眞版)◎鮮人の家屋(寫眞版)◎鮮婦浣紗(ジンク版)◎野田大塊翁の自書自贊(寫眞版)◎鮮人の船(寫眞版)◎麻浦(ジンク版)◎太華亭(ジンク版)◎愛吾廬同人庭前の小集(寫眞版)◎子爵金允植氏の德富氏送序の筆蹟(寫眞版)◎故伊藤公自筆南山脚下の詩(寫眞版)◎朝鮮總督官邸に於ける寺內伯(寫眞版)◎寺內伯書和歌(寫眞版)◎寺內伯書鴨綠江鐵橋落成の詩(寫眞版)◎寺內伯書早發の詩(寫眞版)◎寺內伯書慶州懷古及び乙卯誕辰の詩(寫眞版)合計三十二種

總クロース上製函入 定價金壹圓五拾錢 ▲郵稅本社負擔▼

大賣捌所 京城太平通一丁目 京城日報社代理部 振替京城三〇〇番

酒精分無くして葡萄酒の味

代理店 京城南大門通 新井藥房 同太平通 キムラ藥舖 釜山辨天町 大黑藥房 元山港 石田濟生堂 木浦 木下藥舖 安東縣市場 井上藥舖

夕の一杯 精力を强む 朝の一杯 元氣を增す フエロール

適應症 腎家 ◎老衰肺病 ◎肋膜神經 ◎消化不良 ◎營養不良 ◎貧血諸症 ◎產後病後

定價 ▲大瓶 壹圓五拾錢 ▲小瓶 八拾錢 ◎賣捌は各藥店にあり

創業元 大阪道修町 藥劑師 小西久兵衛

藥の苦味無くて强壯の効絶大

瀨戶皮膚科外科醫院 旭町二丁目(舊三丁目) 醫學士 瀨戶潔 診察夜九時まで (電話二四九八番)

客室親切叮嚀 平壤大和町 松岡旅館 電話三〇五

模範 純粹搾乳 牛乳 ヨーグルト 大正搾乳醫獸士場 東亞牧場 [illegible]

物品購買公告

大豆 武千貫

此入札保證金ハ各自入札金額ノ百分ノ五以上

右購買ス供給請負希望ノ者ハ本府庶務係ニ就キ入札人心得書、契約書案、仕樣書、現品等熟覽ノ上十一月一日午前十一時限リ本府庶務係ニ入札スヘシ即時開札ス

此契約ハ朝鮮總督府府尹金谷充擔當ス

大正四年十月二十五日 京城府

東京公債取引(前日との比較) [illegible]

大阪株式特電 [illegible]

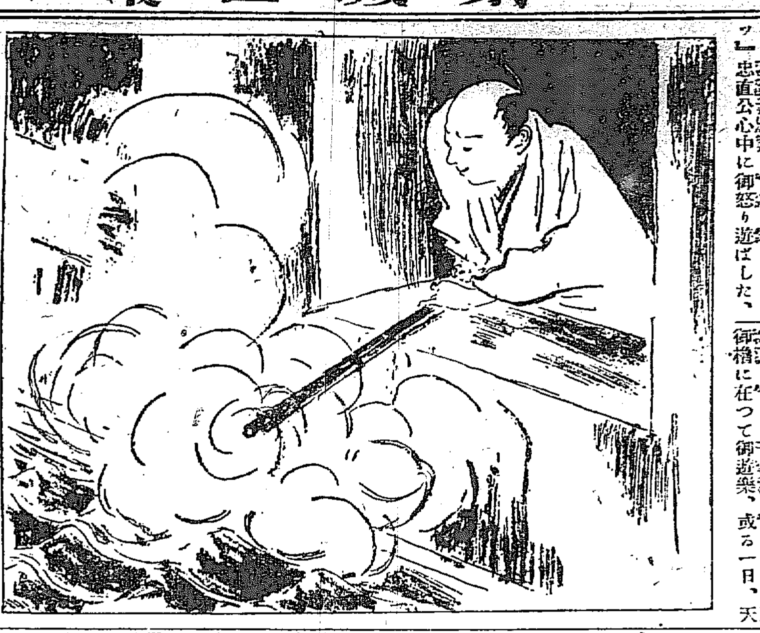
下關期米特電 廿七日前場 [illegible]

越後大評定

第二十六席　早川貞水口演

忠直の亂心

茲に大阪城全く落城いたしましたから、家康公は、京都二條の御城に於て、此度大阪落城に就いて、諸大名に對し、それ〴〵御恩賞の御沙汰が御坐いました、一番初めに、越前宰相忠直公、第一の功で御坐いますから、家康公より『忠直、其方に攝河泉の内百萬石取らするのであるが、此度の戰爭、多き物入りに依つて百萬石の代りに天下一品、司馬形付の茶容を遣はし、之を百萬石と心得よ』と、御茶容一つを下さる『ハアー』忠直公心中に御怒り遊ばした、



『さては予を詐り、斯樣な物を下さるよ』と右の茶容を持つて直ぐに御退出、御傍に御樣子を見て居りました伊達政宗『ア、御氣の毒なことだ、大御所の御心中も御察しするが、忠直公の御心中、さぞ殘念なことであらう』と思はず落淚いたしました、其で忠直公軍勢を纏め、越前福井へ御歸り遊ばした時に、一同の御家臣を集め『汝等よつく承はれ、此度大阪城攻に付き、汝等心を盡しくれたること忠直喜ばしく心得居る、就ては百萬石の加增あつたる時は、汝等へそれ〴〵分け遣はさんと樂み居つたるに、思ひも寄らず是なる茶容一つを百萬石に代へて大御所より下されたり、之を銘々に分け取らすること、固より相能はぬに依り、斯く致す、一同見よツ』と仰しやると、向ふの柱へ投げ付けましたから、司馬形付の御茶器は粉微塵『汝等その破片を拾へ、大なる破片を拾つたる者は澤山の加增、小なる破片を拾つたる者は少なき加增と心得よ』ハツと一同恐つたが『斯りや大變、司馬形付の御茶器を碎かれたること、公儀へ知れたる時は、御當家へ如何なる御叱りあらんも知れぬ』皆々顏見合せたが、是れから全で御亂心同樣、もう家來の言ふことも御用ゐにならぬ、毎日の御酒宴、御無念骨髓に徹し、如何に公儀より、何と御催促があつても江戸城へ參覲なさらぬ、福井城御櫓に在つて御遊樂、或る一日、天守に於いて御酒宴の時、忠『あれは何者ぢや ○『恐れながら御領分百姓にて、唯今農業いたし居りますもの、忠『ム、世の中は追々太平と相成ると共に、武術は漸次衰へる、武は國を治むるの要具、どうも武を忘るやうなことではいかぬな ○『御意に御坐います 忠『ア、左樣か、あの百姓の居る所まで、餘程間數が離れて居る、コリヤツ鐵砲を持て ○『ハツ 忠『鐵砲を持てツ ○『ハ、ハツ 忠『鐵砲を持てーツ ○『ハーアツ』十匁の鐵砲を持つて參りました 忠『此鐵砲で、彼處に控へ居る百姓が撃てれば、未だ武は地に墜ちない ○『ウヘーツ、是は以ての外の事で御坐る、御控へ遊ばせ 忠『ナニ控へろとは ○『御止まり遊ばせ 忠『默れ、予が領分の百姓を予が討つに仔細はない』彈丸を籠めて狙ひを濟まし、ドゥーンと一發、何事も知らぬで農業を一生懸命に汗骨になつて働いて居ります太郎兵衛と云ふ老人の胸元をブツーツ『アーツ』と倒れる、イヤ百姓は驚いた、そりや何だ、一つ雷だ、太郎兵衛確乎しろーツ、皆來い、太郎兵衛が死んだい』と云ふを聞いて、彼方此方から出て來て『何でも今のの遊でドゥーンと云つた、雷でねえ、鐵砲に違ひねえ』大騷になりました

共進會最上のおみやげ　變味腐敗せず　滋養大　關玄楓　乃木餅　一箱十錢　五錢　京城本町壽館前乃木餅屋　電話二七五二へ御注文迅速御屆し升

入院隨意(診察夜九時迄)
皮膚科　皮膚病　黴毒病　淋病　膀胱　生殖器　機能障礙
京城明治町二丁目(元町二)　佐藤醫院　(電話一一七三番)
日曜祭日午後二時迄

十月二十九日　九星
舊九月二十一日　癸巳
本命　四綠　危　大安

▲四綠 心機變動を意味する日 新事見合北方は吉 ▲五黄 ぐれはまに來る事有日 新事手控着事は吉 保證調印等を禁ず ▲六白 平運の日 物の準備を爲は吉 新事手控着事は妨なし ▲七赤 見損じの事有日 新事手控着事は吉 買物に用心せらるべし ▲八白 人の爲た前で抑て笑はる、事有日 新事手控常の事は吉 ▲九紫 肚際 求職 遊興 旅行 入門 名弘 外取引 ▲一白 めでたき日 婚禮 結納 金談 萬吉 ▲二黑 自分天狗の事有日 新事手控着事は吉 女子は絆されぬやう用心せらるべし ▲三碧 同情 塙り 物築 昌

◎うきよ十一月號　活社會の一大フイルムたる雜誌『うきよ』は十一月號より姉妹雜誌たる『いろ』を併合し新生面を開拓して活氣ある記事を滿載したれば發賣禁止となれる前號に比し趣味一層濃厚にして好評湧くが如し

▲廣告▼

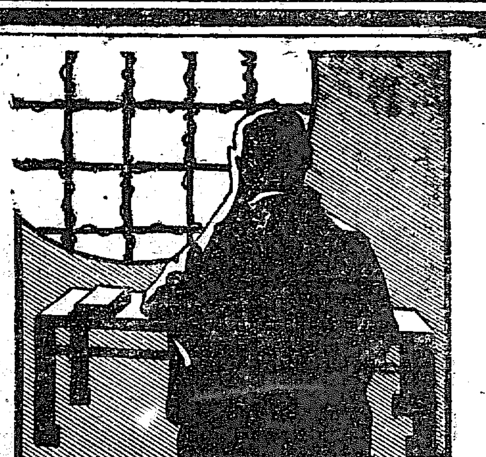
肋膜炎を病む方に

◎水がたまつて苦む人 ◎水がたまらなく苦む人

ロクマクエンにて永らく病む人は淡色の液がたまり、液の中に血が交り濃汁がたまり、呼吸をすると胸が痛む、咳嗽が出る、動くと呼吸が困難になると云ふ隨分難儀な病氣である此病氣を速く治して丈夫になりませんと世の人々の最も恐れて居ります肺病や腹膜炎に成り易いのですが未だ此病氣に良く効く良藥がありません東京府大森新井宿中江藥療苑ハガキにて御照會あれば是迄實地服藥のヨクキク靈藥の自宅治療問答上最も病に惱む方に無代で差上げます同病に惱む方は御遠慮なく申越下さい

梅毒

『梅毒』の恐ろしき害を被るは其治療法と藥劑の選擇の宜しきを得ざるによる油斷をすれば危險は刻々に迫る此病に苦しみ給ふ諸氏は速にハガキにて御申越あれ自宅で安全秘密に根治し得る最新治療書贈呈 東京大久保百人町六八 東京藥學研究所



煙草代用

讀書の好季到る！

長時間勉學の倦怠(け)——終日活動の疲勞(け)

常用せば元氣を恢復し無限の精力を增進す

森永ミルクキヤラメルを

ポケツト入 大金十錢 小金五錢

ニセモノに御注意の上

此の商標ある森永ミルクキヤラメルの御愛用を乞ふ

東京大阪　森永製菓株式會社

優等清酒　一鶴
京城本町四丁目電話六五四番　本莊酒店

日本を世界に代表する化粧料

パール

白粉　クリーム　ポマード　煉香油

東京 平尾賛平 關西四代理店 平尾賛平支店　本舗 平尾銑也商店

大正四年上半期決算報告

貸借對照表

貸方

科目	金額
資本金	四五、〇〇〇、〇〇
法定積立金	貳五、〇〇〇、〇〇
別途準備積立金	四五、〇〇〇、〇〇
所有物價却積立金	壹貳、〇〇〇、〇〇
配當準備積立金	參〇、〇〇〇、〇〇
仲買人身元保證金	貳四、〇〇〇、〇〇
賣買證據金	五八、四八五、〇〇
諸預り金	四四、〇〇
前期繰越金	四、四六八、九壹
當半期純益金	五四、壹四八、九參
受渡米代金	壹貳、七六〇、〇〇
計	參壹〇、九〇六、八四

借方

科目	金額
地所	貳五、〇五五、壹〇
建物	貳貳、五八〇、七貳
營業什器	五五〇、四〇
定期預金	貳〇、〇〇〇、〇〇
所有債券	壹、參壹貳、五〇
銀行當座預金	壹五貳、八貳參、壹參
貸付金	壹參、五〇〇、〇〇
別途預金	貳四、〇〇〇、〇〇
仲買人賣買差金立替高	參參、〇〇八、五〇
電報料	七〇、八五
金銀在高	六、〇〇五、六四
假出金	壹貳、〇〇〇、〇〇
計	參壹〇、九〇六、八四

利益金ノ處分

科目	金額
當半期純益金	五四、壹四八、九參
前期繰越金	四、四六八、九壹
計	五八、六壹七、八四
内	
法定積立金	參、〇〇〇、〇〇
別途準備積立金	貳〇、〇〇〇、〇〇
所有物價却積立金	九參六、貳貳
寄附金	壹貳、〇〇〇、〇〇
配當準備積立金	五、〇〇〇、〇〇
役員賞與金	五、四壹四、〇〇
株主配當金	四、五〇〇、〇〇
後期繰越金	七、七六七、六貳

右ノ通リニ候也

大正四年十月

株式會社 仁川米豆取引所

取締役社長 飯田茂登雄
取締役 松尾鶴男
取締役 奥田貞次郎
監査役 森常吉
監査役 立石幹
監査役 大石貞治郎

◉縮毛くせ毛

▲矯正藥の發明 ▲伊藤氏の名譽

鬟に植物助活液を發明し斯界に名を馳せし前鐵道院東部鐵道管理局化學分析所主任伊藤嚴三郎氏は今又多年苦心の結果從來根治不可能とせられし縮毛くせ毛の矯正藥を發明し近く專賣特許の出願を爲す由なるが氏の方劑は七種より成る粉末藥にして如何なる難症と雖も矯正さざるはなしと云ふ。因に東京京橋尚崎町一ノ廿四鈴由商會藥品部は該藥の一手販賣權を得目下實効公示の爲何人にも療方書と共に無料頒藥中なれば同患者は此際送料三錢添申込上實驗せらるべし

滿蒙處分論

露國クロパトキン將軍原著 日本大井包高譯 定價金一圓郵稅八錢 京城日報代理部 振替貯金京城三〇〇番

けさ
今朝 毎日 召上りましたか
消化上 美國 錠劑
金言 事業は人世の鹽なり
仁丹 召上つてイツモ爽快！

千百萬の愛用者を有する
品質本位
ライオン靴クリーム
最善の品質と保革の防水と高尚の光澤とはライオン靴墨の有する權威にして本領たり
陸海軍御用品
新案特許 ライト自働靴クリーム本舗
東京京橋區南鍋町 太洋商會
(電話京橋五〇九一・振替東京二五一二三)
(錫入瓶入二種)

母キク儀葬送の節は態々御會葬被下難有奉謝候混雜の際尊名伺洩れも有之候間乍略儀以紙上御禮申上候
十月廿七日
男 澤田清
親族 岩田菊五郎
總代 野村吉三郎
友人總代 田端俊純　内原松補　松井虎吉　清水松藏　森隆孝

妻 好子
弟 川上常文
尹澤倭郎
小井靜炳
村井秀壽
秦甲夫
松本作
金祥誠演
友人總代
阪口行克儀療中の處本日午前八時四十五分死去候に付茲に謹告仕候
追て葬儀は明後廿七日午後二時執行仕候
大正四年十月廿五日
知諸君
平安北道義州
朝鮮總督府道事務官 阪口行克 客月末日より當地慈惠醫院に入院治療中の處

●新荷著アンクル式片側懷中時計●

構造堅牢不狂正確無比且終も實用的にして價格の低廉なる事天下無比

一號 一圓九十錢	側
六號 二圓八十五錢	同
十一號 二圓五十錢	同 腕時計鎖付
十六號 二圓六十錢	ニツケル側
十三號 三圓九十錢	同(機械表示)
十九號 二圓九十錢	同
十六號 八圓五十錢	同
十八號 十圓	同
十六號 十二圓二十錢	銀鍍金(彫刻蓋)
十	銀鍍金(彫刻蓋)
十	同
十七號 十三圓八十錢	同(銀七寶)
十九號 十六圓八十錢	同(腕時計)
十一號 十八圓	同 パリ(十年保證)
十八號 二十二圓五十錢	同
同 十三圓	金
十九號 二十五圓	同 十八金
十六號 百五十圓	同

右は今回新著の商品にて本商會の特製品なり之を左の如く御申込に預り度候 御注文は前金にて御送金相成度候 地方御注文は小包郵便にて御送申上候

時計蓄音器、ミシン機械、自轉車、洋酒、各國寶飾直輸入商
イングレツシー商會
本店 京城本町二丁目電話九七二番

●美人●
割増 ○○露骨及春男女 ○○寫眞取合へ六枚 送料共四十八錢頭 十枚九十五錢切手 大阪中之島二 美泉堂

仁川期米 二十七日前場
▲前場の大激戰
京城正米
廿七日の十二月限
▲牛皮の昨今

京城日報
年中無休刊
（第二千九百二十五號）
發行所 合資會社 京城日報社

朝鮮統治の成績

蘇峯生

第十二 同化の實

同化の目的が、果して何の時に到達せらるゝかは、經世家に取りて、大なる疑問也。世界列強、他國を併合して、同化の効を奏したるもの、絶無にあらざるも、僅有也。普國の波蘭を分割したるは、約一百五十年前也。然も波蘭人は、今尚ほ普國に於ては異分子たり。露國の芬蘭に於ける、英國の愛蘭に於ける、墺國の匈加利に於ける、同化に成功せずして、寧ろ己むを得ず、放任主義に頼らざる可らざるに至れり。吾人は我が朝鮮統治の効果が、物質的に於けるが如く、精神的にも成功する乎、否乎に就て、轉た杞憂なき能はず。然も是れ唯だ杞憂のみ。

然も吾人が同化の功を奏し得可しと考慮する重なる理由の一は、日鮮人の同人種なること是れ也。科學上より研究すれば、幾多の議論もある可し。されど日鮮の同一人種たることは、議論を超絶したる事實也、歴史的事實也、現存的事實也。若し立ち入りて考れば、日本人種中にも、分類す可き必要あり。朝鮮人中にも、亦然り。何んぞ單り日鮮人間のみと云はん哉。然も日鮮人種の同一なるは、之を獨逸人種と、スラヴの一派たる波蘭人と、同一視す可らず。本來同一のものを、合するものなれば、苟も同化の道を誤らざるに於ては、決して至難の業にあらず。

第二の理由は、朝鮮には、本來獨立したる國家としての歴史なし。されば時に或は契丹に、時に或は金に。而して其の元代に於ては、朝鮮を擧げて、殆んど元に臣事したり。高麗王の如きは、辮髮、胡服したりしにあらずや。其の明代となるや、明の正朔を奉して、明滅びて後尚ほ明終の年號崇禎を以て、歴年の紀元となせり。乃ち其の南韓の時に唐に臣事し、時に我に臣事したるが如きは、歴擧する迄もなし。されば彼等は他の人種に見るが如く、同化作用に反撥するが如き、特殊の性格を有せざる也。要は唯だ其の道を得るにあり。

第三の理由は、如何なる事情あるも、彼等は獨立國として、存在する能はざる境遇にあり。最近五十年間の問題は、朝鮮か獨立し得可き乎、否乎にあらずして、露國の附庸となる乎、支那の屬邦となる乎、將た日本に併合せらるゝ乎にありし也。而して大勢の趨く所、今や日本に併合せられたり。日本にして自から第一流の雄國たる資格を失はざる限りは、朝鮮を失ふをなかる可し。既に朝鮮人たるものは、恒に日本と乖背する乎、將た日本に同化する乎の二者を擇ばざる可らず。利害を見るに敏なる朝鮮人にして、豈に其の取捨を誤るが如きことある可けん哉。

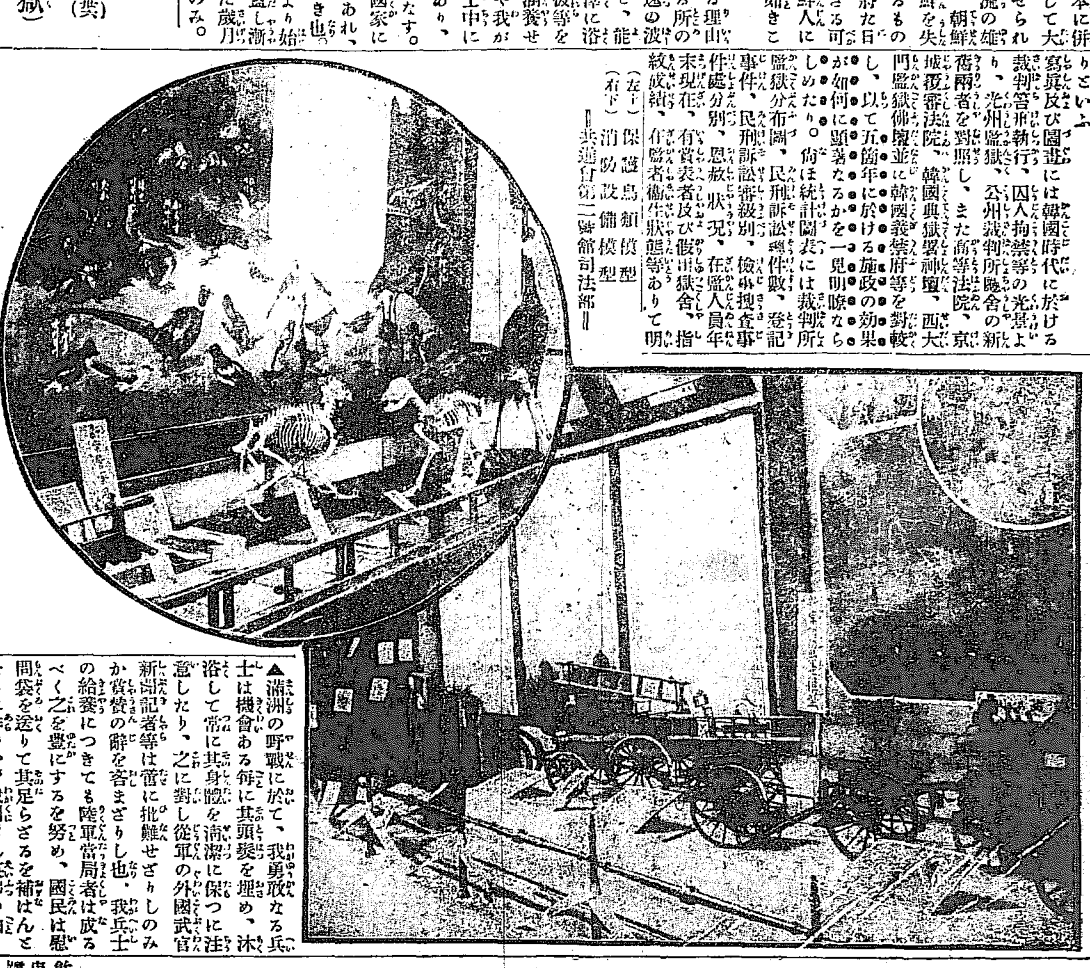
第四の理由は、理由中の重なる理由也。そは我が列聖相ひ紹ぐる所の綏撫的帝國主義は、決して獨逸の波蘭人を遇するが如くならずして、能く朝鮮人をして、其の善政の澤に浴せしむるのみならず、更らに彼等をして忠君愛國の精神を培成、涵養せしめずんば止まざる可し。今や我が日本に於ける尊王愛國の志士中には、朝鮮の歸化人あり、漢人種あり、所謂蕃別氏族の徒、頗る多しとなす。之を個人に於てするも、之を國家に於てするも、其の大小の差こそあれ、其の主義に於て、決して二致なき也。諺に曰く千里の行は、一步より始むと。我が總督政治の如き、蓋し漸く之を始めたるのみ。要は唯だ歲月と與に、之を徹底するにあるのみ。

大共進會 出品概觀（其）

二號舘（警務司獄）

中央大通路の左側に東面して樹てるエスチ、アの塑像を圍める左右は警務及司獄の領域なり、此塑像は司法の嚴正を表徵せる法の女神にて京城監獄永登浦土管工場の製作に係り其の基臺の裝飾煉瓦は同監獄麻浦煉瓦工場の作品なり、裝飾煉瓦は今回始めての試作とて未だ見るに足らずと雖も價格の低廉なる内地製品の半額に滿たず、今後製品の改良に努めば必ず多大の需要を喚起し得可し、又場内には京城監獄百分一の大模型あり、同監獄は十九萬四千餘圓の工費を以て明治四十四年の竣工に係り施設の完備せる點に於て鮮内の諸監獄中他に比肩するものなし、此出品は新政施行以來百般の政務に亘りて著々刷新を計りたる中、監獄事務の改善も亦主要の地位を占め專念獄舍の改修に鑒せる一端を示せるものなりといふ

寫眞及び圖畫には韓國時代に於ける裁判管理執行、囚人拘禁等の光景より舊兩者を對照し、また高等法院、京城覆審法院、韓國典獄署神璽、西大門監獄佛堰並に韓國義禁府等を對較し、以て五箇年に於ける施政の効果が如何に顯著なるかを一見明瞭ならしめたり。尚ほ統計圖表には裁判所監獄分布圖、民刑訴訟件數、登記事件、民刑訴訟審級別、檢事搜查事件處分別、恩赦狀況、在監人員年末現在、有賞表者及び假出獄者、指紋成績、作業者衞生狀態等ありて明治四十三年以後大正三年に至る間の裁判及び獄監事務の狀況を網羅し、民刑訴訟事件の逐年增加せること及び其種類が社會の發達に隨伴して漸次變遷せること並に在監囚徒增減の有樣、作業就役の歩合、指紋の成績等瞥見の間に其要を摘ましむ。此外司獄には朝鮮司法沿革小誌の出陳あり、同書は之れを李朝以前、李朝時代、李朝末葉、統監府時代及び現今の五章に分ち、沿革一覽表を添へて朝鮮建國以來五千年間に於ける司法制度變遷の梗概を敍したり



（左上）保護鳥類模型 （右下）消防設備模型
＝共進會第二號舘司法部＝

京城雜筆

山縣生

▲十人十色、人々各々其好む所を異にするを以て、甲の信ずる所は乙のこれと異なり、從てこゝに批評の生ずるは毫も怪むに足らざれど、近頃余の解し得ざるは我仇敵たる獨軍を賞贊し、我味方なる英佛聯合軍を批難して快とする論者の心事なり

▲近く大阪朝日に此一派の論者の英佛聯合軍を惡罵したる一文の掲げらるを見る其議論の根據とする所は英佛の兵士が塹壕中の生活の比較的安樂にして、其食物も其備品も上等なるが上に、彼等は常に其容姿風采に注意を拂ふを怠らずといふにあり

▲此等が何故に彼等を批難するの理由となるやは余の全く了解し得ざる所なり、英佛二國は富世界に冠たり能く其兵士に十二分の給養を與ふるを得、其兵士が塹壕中に於て比較的安樂なる生活を送るに何の尤むべき點ありや

▲英佛の兵士が成るべく其容姿風采を揚ぐるに努むる亦何の不可かあらん、昔は木村重成戰場に臨むに先だち、沐浴して其頭髮に香を焚き込めたりとて武士の美談として今に傳はるに非ずや、兵士は其衣食を粗惡にし、其身體を汚穢にするが能事に非ず、若し粗食して蓬頭垢面なる者能く戰ふとせば支那の兵士は世界第一の勇者たるべき筈なり

▲滿洲の野戰に於て、我勇敢なる兵士は機會ある每に其頭髮を理め、沐浴して常に其身體を清潔に保つに注意したり、之に對し從軍の外國武官新聞記者等は當に批難せざりしのみか賞贊の辭を吝まざりし也、我兵士の給養につきても陸軍當局者は成るべく之を豐にするを努め、國民は慰問袋を送りて其足らざるを補はんとせしに非ずや、我國もし英佛の如く富有ならんには我當局者は必ず兵士の生活を一層安樂にするを忘せしならん

▲安樂なる生活を送るが故に英佛聯合軍は戰に怯なる者に非ず、彼等が潮の如き敵の進軍を遮り止め、敵に當初の目的を達するを得しめざりしは天晴れの手柄にして、怯者の能く爲し得べき所に非ず、殊に佛軍の健闘善戰は賞贊に餘りあり

▲獨軍の今日迄比較的常に優勝の位置を占め得たるもの全く四十年來全力を擧げて準備したるに由る、何ぞ驚くに足らん、驚くべきは寧ろ獨軍が準備足らざりし聯合軍を一擧にして壓服し得ざりしに在り

▲淺薄なる觀察者は獨軍の働きに眩目して、其武功を嘖々すれど、獨の海軍の深くキールに潛みて手も足も出し得ざる醜態を何と見るや、獨が陸に於て準備したるが如く、英は海に於て常に備ふる所あり、獨の陸上に於ける成功若し賞し得べくんば、英の海上に於ける優勝はこれ亦賞すべきに非ずや。然るに我仇敵なる獨に歎心して我味方なる英佛聯合軍を惡罵する者は、其心理狀態の病的なるを示すもの誠に憫笑するに堪たり

日報歌壇

鷗栗花

いさゝかの油染みたる枕にもすげなき秋のまつはる心地
情無かる君はも似たり銀の針含むとも見るせゝらぎの音に
すがれたるダリヤの前に思出の古き香りをしみ〴〵と嗅ぐ
秋の夜は文に離りてしはらくをけじめなき迄戀ひつゝあらん
六日程わかれぬ思ひにかきくれてすゞろに在りぬ秋はもおかし
落ち髮をとだえし君に送らばやとしも願ぎけり秋の或る日ゆ
嫁ぐてふはづかはしさにさにづらふ彼の夜の君の忘れがたかり
離りゆくいみじき笛に此の心あはれたまゆらさしぐみにける
ゆく秋やかたくなゝりし君はしも物の哀れを覺ゆると聞く

□辻の風 鷗栗花

辻の風少犬の耳と我が頰と君が煙草をさかしまに吹く
頭のみ白き小鳥のめまじろぐ柿の幹より落つる太陽
川向ひ小雨來ぬらしこの夕ふと氣まぐれの歌文を書く
手枕やよりそふ蜩の小さき翅にいとど夜寒を覺えけるかな
朝の氣のさはやかさかなおほけなき心今はたほぎ歌に滿つ

日報俳壇

雄子郎選

蜻蛉
飲ませては唄の所望や飛ぶ蜻蛉 北星
蟲や牛や我や貧や荷や飛ぶ蜻蛉 同
躓きて切れし草履や飛ぶ蜻蛉 山民

木犀
門衛の眼に人なしや木犀花 義朗
急ぎ縫ふ木犀の雨に暮早な 鼓村
小蜂群れ木犀に日ざし夕なる 麥甫
思ひ來て師言深きや木犀花 宵奴
木犀に寺の間借りの夫婦かな 宵村

柿
父の遺志繼げど不肖や柿の秋 浦南
腐れ柿蹴つて進むや山近し 甘村
柵結びて塞げし徑や柿一木 山民

菊
白菊や兒に灸する若き母 未知男

夢中吟
菊を見てヒタ渡りきる廊下かな 梭黄子

木の實
木の實干して出行く婆や留守居かな 義朗
雨戸繰る庭の木の實よべの風 篴川

東亞煙草株式會社

（四包に付景品券壹本宛） （二包に付景品券壹本宛） （一包に付景品券壹本宛）

愈々本月卅一日限り

擧行以來豫想外の好評を博せし共進會記念景品付大賣出しも愈本月三十一日限りに相成茲四五日中に御買求め相成方御得策と奉存候

徹頭徹尾顧客本位

■景品は面目一新凡て實用向の物のみに御座候
■賣出區域 朝鮮全道
■賣出期間 自九月十一日 至十月三十一日
■引換期間 自九月十一日 至十一月十一日
■景品引換場所 ■京城市内
京城本町二丁目 東亞煙草景品引換所
東大門市場内 崔根鎬
南大門市場内 金弘植
元北門郵便局前 朴□商店
本町四丁目 森田商店
新龍山 永濱商店
龍山 小山商店
■仁川府内 仁川府宮町仁川出張所
■其他各地販賣店にて引換可致候

□景品
△一等 金庫、鞄、毛布、時計、其他
△二等 蟇口、ネクタイ、カフス、ヤツ、其他
△三等 煙草パイプ、活動寫眞、玩具、家庭博入場券、共進會入場券、其他
△四等 匙、毛抜、鉛筆、其他
△五等 マッチ、紙風船、鉛筆、清快丸、其他

注意
景品券は到る處の小賣店にある筈ですから上記の煙草御買求めの際は是非景品券を御受取り願ひ升

列強大戰

▲獨軍失敗 獨軍がバービット湖の東方に於て執りたる攻勢は失敗に終れり獨軍はイリスパルの南方を必死的に五回攻撃せるが悉く撃退せられ第六回目に至り其の一部は露軍の防禦線に侵入せるが露軍は之れを銃劍にて刺殺し又た捕虜となせり（倫敦電報）

▲聯軍上陸 デデヤガッチに 羅馬よりの報道に依ればデデヤガッチに聯合軍隊を上陸せしめ二十四日サロニカ、アドリヤノーブル間の鐵道連絡を遮斷せしめたり（倫敦電報）

▲戰艦砲撃參加 雅典來電に依れば二十隻の戰鬪艦は四時間に亘りデデヤガッチ砲撃に參加せり（倫敦電報）

▲勃岸聯合砲撃 二十一日聯合艦隊は勃國沿岸砲撃の際火災を起さしめ二個中隊全滅し合計一千名の死者を生ぜしめ鐵橋を破壞し兵舍及び鐵道停車場を燒失せしめたり（倫敦電報）

▲獨軍進出阻止 シャトリスクの逆襲 イルクストクの東方に於ける獨軍の進出は森林の境界に於て阻止せられ露軍はボジンスコイ、コラニーの西方に於ける獨軍の村落數箇所を奪取せり露軍はシャトリスクの西方に於ける逆襲により一千餘名の俘虜を得たり（倫敦電報）

▲コプルル奪還 雅典來電公報に依れば塞耳維軍は必死的戰鬪の後コプルルを奪い還したり（紐育電報）

◎帝政魂膽 北京政府部內の消息に依ば日本の御大典頃より袁皇帝推戴を鼓吹し一方國民代表大會は君主立憲決定後迅速に袁皇帝推薦の道具と變り袁は十二月中旬一先づ帝位に登り來春即位大典擧行の豫定なり（北京電報）

◎外交次長放言 最近小幡領事と曹外交次長との會見に於て曹は日本の支那帝政に對する方針を訊ねたるがその結果支那政府にては日本が反對の意志あるものと解し居れり尙ほ又日本が悠々態度を決せざる間に支那は帝國と爲り了るべしと冷笑せり（北京電報）

◎奇怪な訓令 北京政府は各省將軍巡按使に密電を發し時局に關し能く治安を維持し以て日本をして有利の口實を得さらしむ可しと訓令せり（北京特電）

◎奉天省債募集 奉天省にては短期外債償還の爲め百五十萬元の公債を發行し省內五十四縣に之が募集方を引請けしめたり（奉天特電）

◎伏見宮御歸京 御大禮準備御檢分の爲め京都に御出張中なりし伏見宮貞愛親王殿下には二十七日午後八時東京驛着汽車にて御歸京ありたり（東京特電）

◎各艦艇の賀儀 今回の海軍大演習に參加せる各艦艇百廿四隻は卅日の演習終了後神戶に廻航し卅一日午前中滿艦飾を施し二十一發の皇禮砲と共に天長節の賀儀を祝し第一艦隊は同港に引き續き碇泊し其他の艦隊は品川、長崎、門司、橫須賀、吳、佐世保、舞鶴、旅順の各港に配置せられ御大典奉祝の賀儀を行ふ事に決定したるが共配置艦船は帝國各軍が尙ほ戰時狀態に在るを以て之れを發表せざる由なり（東京特電）

◎幣原公使著京 新たに外務次官たるべき和蘭駐剳公使幣原喜重郎氏二十六日神戶著二十七日午前八時四十分東京驛著汽車にて歸京せり同驛にて石井外相、松井次官、和蘭公使其他の出迎を受け青山の自邸に入れり（東京特電）

◎總督釜山通過 寺內總督一行は二十七日午後八時十五分釜山著連絡船高麗丸にて內地に向ふ若松府尹、香椎源太郎兩氏は三浪津まで出迎へ歩兵一箇中隊護衞のため及び釜山官民の出迎へ者多數なり因みに總督を見送りて當地に來れる立花警務總長其の他の一行は即夜京城に引返したり（釜山特電）

◎御眞影奉戴式 奉天守備隊に御下賜の御眞影二十七日朝到著したるに付奉戴式を擧げたり（奉天特電）

◎御眞影大連到著 滿洲各官衙及び學校へ御下賜の御眞影は二十五日旅順都督府に到著、滿鐵、民政署、各學校よりは二十七日奉戴者を派し拜受の上正午十二時大連驛に著せり驛には民政署員滿鐵社員各學校職員生徒等多數整列奉迎せり尙滿鐵へ御下賜の御眞影は廿九日迄に沿線各學校に下渡すべしと（大連特電）

東京發別電

▲羅馬尼の國論 羅馬尼に於ける國論は漸次聯合軍に傾き來れり

▲希臘內閣總辭職 希臘內閣は這回總辭職をなしたり

▲英外相對希臘提議 英外相エドワードグレー氏は英國の對希臘提議は外交上齟齬を來したる旨言明せり

▲滋野男負傷 佛國飛行隊に參加したる我滋野男爵は飛行の際負傷したる旨或筋に通知ありたり

▲革命黨崛起企畫 上海來電に曰く曩に上海佛國租界に於て拘引されたる苦力四十名は革命黨に買收され上海機器局を占領の目的なりし旨を自白したり革命黨の崛起企畫は既に成り居れるが如し

▲帝政と我が警告 帝國政府は支那の帝政に對し袁政府に友誼的警告を發すべし

●對支經濟談片（上）

長春の雪＝對外方針と經濟發展＝貧乏世帶と鐵道＝細かく刻んだ日支協約

貴族院議員 勝田主計氏談

前大藏次官勝田主計氏は京釜線の列車にて語る

九月の末に東京を發て十月一日京城の共進會開會式に列なり滿洲から山東に渡り北京を經て更に滿洲に引返し長春から吉林を見て再び京城の客となつた、朝鮮まで來ると今更東京路が急がるゝ、東京を立つ裝で出て青島濟南も暑かつたが北京では早や秋風が冷たく長春では雪を見た。

▲落寞たる青島 山東省には昨年行つた、獨逸と干戈を交へて青島を略し、軍政が布かれて以來何ぞ變つた事があるかと今度行て見たら別段變つてるとも見えない、折角手には收めたもの丶世界の變局が落著した曉に取捨何れに決するか判らぬ今日、落付いて仕事の出來ぬは當り前の事である、計畫を立てゝ行つた者も、さて爲る仕事は豫期の如くならず手を束ねて坐食する間に段々苦しくなつて何物も得ずに引揚げる者が多く青島は落寞たる觀がある、今更言ふ迄もないが我邦の對外方針が定礎を欠ぐといふ事は國民の經濟發展の上に非常なる障碍である、何の爲めに日本は獨逸と戰つたか、折角青島を陷れて、何故に山東に我が經濟力を植える事が出來ぬか、私は思ふ、獨逸が過去に於て行つた丈けの事は少くとも我邦が實行して可いではないかと。敢て躊躇する事はないだらう。

▲鐵道は速成の事 山東鐵道を見るに軌道と云ひ車輛と云ひ決して立派なものではない世界でも一流に位する程贅澤な滿鐵の施設などに較べると實に粗末と謂てよい、併し其處が獨逸式である、彼れが如く充實したる經濟力を以て聊かの無駄もなく拔け目もなく總て經濟的にして大なる効果を擧ぐるところは大に鑑みるべきではないか、日本のやうな貧乏世帶であり乍ら、兎角施設經營が贅澤に流れ費用が嵩むので聽刧になり發展が遲れるのとは較べものにならぬ、良いに越した事はないが、手段に拘泥して目的の達成を遲らすよりは粗末でも手つ取り早く行つ付けるが結局得策である事は開發的意義を有する鐵道事業などに於て殊に然りと思ふ、計畫の當初には彼れで引合ふか知らんと危まれた鐵道でも、二三年も經營するうちには利益を擧る例は尠くない、渠成りて水通ず、線路を引つ張れば人や貨物は自然に動く、彼の路西亞が西伯利亞線の一騎より蒙古を縱貫する大鐵道を計畫して居るなどは隨分無謀な仕事のやうであるが萬更損を見込んだ計畫で無い事は後年の歷史が證明するであらう、それと同樣に彼の滿蒙五鐵道吉會線などの如きも四圍の事情は寧ろ捗速を尙ぶ次第と思ふ

▲協商と利權 北京では出來る丈け多くの支那官民有力者と會見して意見を交換した日支交涉の經路及び其結果に對する支那人側の考へも能く知ることが出來た私は自分の考へとして交涉の要件には他に重要なるものが落して有る、範圍を餘り限定し法律的に細かく刻んだ嫌があつて餘裕が少ないのは聊か遺憾である、今少しく大綱を握んで度量を見せたかつたと思つて居た、今度滿洲へ行て見ると果して富源の調査に於ても合辦事業の計畫に於ても甚だ窮屈になつて居るやうである、それと云ふのも支那人が警戒し出したからだ、何でもない事でも面倒になり煩雜になる、現に邦人が吉林附近の山林を調査せんとして支那人の反感を高めて果さなかつたといふ事もあつた、先日も支那の或る要路者が私に斯いふ事を云つた『日支協約はあれで宜いのか、あんな事では却つてお前の國の損ではないか』と支那人すら斯くの如し、支那に對しては餘程巧妙に立ち廻らねば勞して効少なし考ふべき所だらうと思ふ

◎取引所定款改正 仁川米豆取引所にては來十一月十日より實施せらるべき京畿道米穀檢査規定に依り取引標準米の改正出願中の處今回許可なりたるにより營業細則第二十五條を左の如く改正したり

第廿五條 當期取引の受渡は當所の格付審査に依り代品を用ゆる事を得代品の格下範圍は受渡取引直段の百分の五以內とす其格違の差金は双方差引計算するものとす但し京畿道米穀檢査規定に依り八步以上の夾雜物混入の物は代品に用ゆる事を得ず

從來格下範圍は百分の七なりしを百分の五としたると夾雜物八步以上のものは代品に用ゆる能はずとしたるは改良を獎勵するの一助となり此際至當の處置である尙他にも改正の條項あるが差當り標準米の改正を先にし他は後日改正するならん尤も該條項の適用は十一月一日發會する大正五年一月限以後にして十二月限り迄は從來の條項に據るは無論である標準米の改正は未だ古米建の時期であるから從來の標準米を精選して夾雜物百分の八とし之を以て標準米とするとの事である

◎補習夜學校の開設 小學校を卒業したる者の補習機關の缺乏は夙に一般の遺憾とする處なりしが今回日出小學校內に於て京城補習夜學校なるものを附設し來る十一月一日より授業を開始すべしと教科目は高等商業卒業者其他有力者により修身、國語、算術、商業、算術及び珠算商業、簿記、英語、鮮語を教授するも內一科目又は二科目を隨意學修する便法を設け每日午後七時より二時間宛授業し六箇月間を以て修了するものなり入學資格は尋常小學校卒業者にして入學金五十錢と每月一科目修學者は五十錢二科目修學者は七十錢を納付す可く最初八十名收容の筈也希望者は開校前至急申込む可しと

◎臺灣官吏水族館調査 臺灣臺北廳事務官河村徹氏は二十六日來仁の上水族館に就き種々の調査を遂げたるが臺灣に於ては來年四五月の頃臺灣物產共進會を開會し基隆には水族館を設ける事とて參考の爲め今回調査せるものにて近時の臺

◎仁川九月中石炭 仁川九月中石炭輸移入は三萬三千七百二十九圓にて前月の一萬三千三百四十九圓に比し著しく增加せるが是れ當地市內各工場は一齊に生產を手始めたるにより此方面の大に需要喚起せられたるなり而して前年同月の三萬一千五百四十六圓に比し大差無きは這間の消息を窺知するに足る可し市場賣行は捗々しからず價格は筑豐塊炭（中等品一噸）九圓二十錢撫順塊炭九圓二十錢なりき

◎水族館成績 仁川水族館の開館以來二十五日迄の入場者は團體二万四千百七十八人晝間大人は二萬四千六百七十四人にて晝間小人は三千五百十五人夜間大人は一萬三千九十人夜間小人は二千七百卅三人無料學生軍人は一萬一千二百六十八人優待券は三千三百八十七人にて其他徽章門鑑雜用入場者は八千三百六十八人にて總計九萬一千百五十九人なり一日入場の最多數は四千二百九十九人にて最小數は五百七人なり入場料の賣上高は四萬八千二十圓八十二錢なり

◎京城乘馬秋季大會 立花警務總長を會長と爲せる京城乘馬俱樂部にては來三十日（土曜日）午後一時より秋季大會を警務總監部馬場に於て擧行當日は試乘並に見學の爲め陸軍騎兵隊の高等馬術等ある由

●滿支雜感（下）

政友會代議士 武藤金吉氏談

▲袁世凱と帝政問題 支那の政治の變轉極りなきは猫の眼以上だ正に自動車の車輪の如く飛行機の推進器の如しだ今日支那各地を行くに日貨排斥など何處を吹いた風かと言つた模樣だ袁氏帝政問題の如き北京に於ては參政院は素より內外共に頗る樂觀してゐる然し長江一帶福州香港等南方に於ては（予等は南には行かなかつたが）北京とは正反對の人心である爲に反對者あるのみならず領事館などでも悲觀してゐる樣だ北京でも贊成者許りではない上海には唐紹儀の一味があつて袁氏よりは寧ろ梯子琦氏に就から其他國務卿徐世昌氏、參政院議長梁啓超氏前奉天上將軍趙爾巽氏の如きも皆曾ては袁氏とは同輩であるから袁氏を皇帝として迎へる事は餘り悅んでゐないのは無理もない然し兎に角袁氏は兵馬の權を握つてるのだから勢ひ敵せず徐氏も梁氏も趙氏も皆病と稱して引籠つてゐる許りだ怨くて遂に袁氏は皇帝の位に就くべく現に北京には龍萬と云ふ人を入れて宮殿修理に忙しい

▲注目すべき支那財政 支那の財政の改善されたのは最近の事實であつて日本の大に注目すべき處である北京政府の豫算は歲入三億五千萬元歲出三億五千八百萬元であるが周財政總長は袁氏の親族で且つ志頗る強固頭腦明晰の人、各方面に大に經費節減を加へ北京政府の如きさへ五百萬元を三百五十萬元に減少し結局歲出を三億四千萬元位に減少して一千數百萬元の剩餘を作らんとしてゐる地租五千萬元、鹽茶稅五千萬元、海關稅四千萬元、雜稅三百萬元、貨物稅四百萬元などの收入さへよくば支出を制して存外いゝものになるだらう其上更に酒煙草に課稅しようとしてゐるが然し之には他國から抗議が出さうだから事實としても問題となるだらうし到底駄目だらう一體支那は事ある每に外債を募集しては夫れで事を處理してゐたのだ夫れが今度の戰爭に會つたのだから勢ひ他策に出でねばならなくなつて來た現に外債二十億元、內債八千五百萬元を持つてゐる年々九千萬元乃至一億萬元の利を外國に仕拂はねばならない其外に一億三千萬元餘の高利の一時貸があつて困つてゐた今年春から二千四百萬元の內債を二度募集して五千萬元餘の金を得之で一億三千萬元の急場の外債を處置し小康を得然して內は右の如く整理を努めてゐるのだから大に注目に値ひする事だと思ふ

▲改むべき邦人の態度 最後に一言したきは支那に對する日本人の態度の改革である一體日本人は朝鮮人や支那人に對して餘程侮蔑した心を持つてゐる態度を持してゐる一言に朝鮮人支那人と言へば侮蔑した傾がある之れ大に注意すべき事で現下支那の閣僚次官乃至上將軍巡按使等殆ど總て日本留學生で日本の事情に通じてると同時に日本人の心理と態度とを承知してゐるだから孰れかと言へば日本に對しては好意を持つてゐない之れ明に日本人の態度のよくない事が原因であつて今後大に注意して態度のみならず對支那人の考から改め以て日支親善の實を擧ぐべく努力しなければならないと思ふ

人事消息

▲武藤金吉氏（代議士） 二十七日夜出發內地へ
▲山本市太郎氏（東京實業家） 同上
▲山添重一氏（同上） 同上
▲遠藤隆吉氏（文學博士） 二十七日夜入京京城ホテルに投宿
▲東京鐵道視察團十二名 廿七日夕出發

●（日本）總督府公文添付

商況

下關期米 ……

▲後場の商戰 ……

謹告

當社龍山發電所汲水ポンプに故障を生じ候爲め昨夜八時より十時五十分に至る間京城市中全體に送電を停止するの止むなきに至り候段何共申譯無之突然の停電にて四方御得意樣方に御迷惑相掛け申候事多大なりと存候得共以御蔭漸く復舊工事を了り候に就ては爾今一層注意周到を期し舊來の深厚なる御同情に酬いん事に相努め可申候間何卒不相變御引立の程偏に奉悃願候先は右御詫旁々不取敢以紙上御挨拶申上候 敬具

大正四年十月二十八日

京城電氣株式會社

婦人世界

婦人實話 行く水 下田歌子 ……此篇は秀芳女史といへる賢狂婦人の流轉記なり小說よりも奇なる事實談

御大典と婦人 △家庭に此記念事業を起せ……一木內相 △其日を如何に祝ふべきか……跡見花蹊 △家庭其日の祝拜を如此す……池上嘉子 △即位禮と大嘗祭……（說明）

食事法 村井弦齋

日本新三景（第二回發表） 第二回發表本道では（九五三）金剛山 ■大盛況の第二回投票數 三保の松原（二〇〇八八三〇票）和歌の浦（一八六八九票）を首めとし耶馬溪、大沼公園、十和田湖、男鹿半島、嵐山、寒霞溪、中禪寺湖、千代の松原以下三十名勝殆んど各縣に亘る ■投票者には賞品を呈す

心身治病實驗 息心調和法 △重症の腎臟病を治す……吉武しやう子 △難物の婦人病を治す……臨井露子

大岡越前守の子孫並に織田信長……柴田勝家の子孫現存す

脊低き人の衣服の着方 婦人內職しらべ（仕立物の內職）

家庭小說 銀笛……小杉天外 人殺し！人殺しと叫ぶ聲に吃驚して梅之助は湖畔の月を飛鳥の如く走る

□十一月號發行□東京京橋南紺屋町 實業之日本社□振替東京三二六番□一冊十五錢郵稅一錢五厘半年一圓五錢□

小兒科專門 內科 若槻醫院 京城旭町三丁目（元十全病院跡） 電話二四六二番 ドクトル メヂチーネ 若槻寬

大阪期米特電（廿七日）

……に寄付直に八錢と押したるも買……く折柄大……二節四十三錢と高移りに十五錢と……たるも買物多く十錢と押し大阪……五十錢と……移りに再び十五錢と返し四錢と小堅き……

後場跳ね返す 受けて九錢十……錢と寄付直に〇八錢と押したるも……三田共……より買物あり折柄大阪後高にて十五錢と返し……たるが寄より廻りたる買物題はれ……引より買

……

附　九圓十錢　後場　高値　九圓十四錢　安値　九圓八錢　出來高　一萬九千二百石

十月限　千五百石　十一月限　……四百石　十二月限　……千……石

大共進會 成功デー

雪崩を打て押寄せた觀客

廿七日午後一時二十分、協贊會主催『共進會成功デー』の催し物の一つ鮮人の大綱引は協贊會廣告塔の東方で開始された、此日朝來急かに冷い風が吹き初めて寒氣肌に水の如く感ずるにも拘らず、嶄新奇抜な協贊會の計畫にそゝられたのと、折柄の晴天と閉會の間近かに迫つたのとで觀客は雪崩を打つて押し寄せ、正午頃から早くも協贊會事務所前の餅撒き塔を取り巻いて大群衆を爲して居る、角力舘跡なる婦人子供休憩所は當日の呼物たる各賣店飲食店聯合大假裝行列の樂屋に當てられ、出發の用意萬端整つて樂隊の囃が賑かに響く共進會入場者總數の豫想投票をする好者も其方此方に見受ける見物の間に綱引の廣告を數千枚撒いた上に『之れから綱引を始めます』と太文字で記した大看板を高く人夫が舁いで場内を一通り廻る

綱曳き

綱引の係金理事、芮理事、柳澤、吉田南事務員は守備二名を督して定めの場所に大綱を置いて鮮人數百名を紅白の二組に分け最初は紅を北に、白を南に『初め』の掛聲でエイショ〳〵と力を込めて引く兩側の見物も一整に應援する、勝旗が白に上ると今度は白を北に、紅を南にして勝敗を決したが矢張り勝旗は白方、その儘で今一度戰つたが矢張り勝は白三度の勝負に勝ち誇つた白組は萬歳を叫んで各協贊會からの賞品を貰つて大喜び、井上理事長や三浦事務長のニコ〳〵顔が此間に輝く

餅撒き

時に朝鮮樂隊の景氣立つた奏樂を先頭に假裝行列が角力舘跡から繰り出した頃を見計つて、正面に『祝共進會の成功』兩側に『京城協贊會』と現した高塔の頂邊からバラ〳〵バラ〳〵と福入の餅が雨の樣に霰の樣に飛び出す、四方に張られた萬國旗の中心、高塔の上には係員なる吉池稻垣、村田、李事務員等が黒い腕を伸して東西南北に打ち振つてゐる、高塔下に山と爲つた群衆の波が搖れて入り亂れキャツ〳〵と騷ぎ立つ『妾十錢が當つてよ』『僕のは二錢だ』と餅の包みから驅紙を擴げて喜ぶ人がある間に婆さんが押しつもまれつして三包も餅を拾つて人波から驅け出す、拾つた驅紙から驅紙は十錢五錢と各々現金に引換へて貰つて『入場料

假裝行列

一方珍妙不可思議の假裝行列の長い〳〵一隊は場内を練つて中には円外にまで顏を覗け最後に協贊會場内を慶會樓に向ふと一時入場を差し止めた『菊花大品評會』の入口には吉原台長始め、假裝行列審査委員長原田副會長、委員井上理事長、石原事務官鈴木理事、安理事、崔理事、牧山電通社長、大垣京通社長、難波京日記者等椅子に凭つて控へ手帳鉛筆もの〳〵しく行列の操り込むを待つ、成程數千の見物がやんやと囃し立てゝ場内を追ひ廻つた丈あつて、行列員の苦心慘澹の程も現れ、奇想天外の珍行列、來るわ〳〵、先づ髷ずしのお角力さん、大高源吾以下數名、月のやのお染久松、明治屋、煎餅、松その、若月、三輪商會、うをさ、石川物産、玉川、カフエーエビス、袴屋、森永のキャラメル、賣店の六號永樂、軍艦、明月舘、長春舘、南店七號、朝鮮俳優、朝鮮古本屋、榮泰、博多餅の順序で何れも商賣や共進會に因んで變裝宜敷乘り込で來る最後の博多餅は主人が一丈餘の外人に化けシルクハット、赤縞のフロック仰山に采配を揮ひ御手前の囃で蛤の中から現れた少女に踊らせる趣向を御覽に供して引き退る、終つて審査員一同別室で愼重審議の結果一等は博多餅、二等三輪商會、榮舘、三等明治屋、長春舘、檜、四等朝鮮俳優、軍艦、森永、石川物産、明月、五等榮泰、煎餅、淸市商會、袴屋、カフエーエビス、と定り早速奉書紙に大きく包んだ賞金を授與し協贊會の成功デーは其名をそのまゝ大成功を以て終りを告げた

共進會 側面觀 ―ダース―

衛守（一）

『九月一日からお休みは一日もありません、朝から晩まで運動の時一時間交代する外は、五十日間ぶつ通しです、毎日熱心に注意して三本筋以上の人や警備係の巡査の通る時は直立して敬禮する、お客樣の便利の爲に案内の役も勤める、只ぼんやり椅子に腰掛けてゐる丈の樣で私等にも人知れぬ苦勞がありますよ』と號館の一守衛は記者に椅子をすゝめつゝ語る『女衛守』は同じ部屋で向ひ合ひに腰掛けては居ますが、其れでなくても碌からぬ噂さが立……

切符賣（二）

共進會第一の門、切符賣場に入ると小窓に向いた小女が六七人、右手に入場券、左に釣錢の用意して中央の机には……『……ち易いもの、取締も嚴重なら、各々でも十分注意してゐますので、全く高い〳〵牆壁が築かれて居るも同然であります、別に短しい事、面白い事と云つてはありませんが、開場以來何んの間違ひも無く濟んで來たのが何よりです、殊も僅かに殘りましたから──既早大した事も有りますまい、長くても來月の十日頃までの仕事であります』……を待つて居る甲斐々々しさ

『澤山賣れたのも開會の事務員が臺上の計算中、忙しいのと不馴れで隨分困つたのも最初で、初めはまだ金網がなかつたので當時です、白いの、黒いの、赤いの、手が一度に五本も十本も窓の中に突き込れる、時にはイガ栗頭まで、小智、冷笑、罵詈、堪らぬ程の辛さ──今は少女達も熟練して來たし、切符賣場が外にも出來て樂らか暇にもなり、何れも賣上げを競つて樂しさうに、優しくお客さ……

んの相手になつてゐる、賣口の場所に依つて客の多少があるので一時間々々で窓を交代すると云ふ意氣込み、若し賣上げが少いと口惜しがつて計算をせぬと騷々をこれ出す、面白いのは鮮人で切符を負けろと來る、念が三錢五厘きり無いからそれで入れて呉れと歎願する者もある、最近に最も忙しかつたのは自轉車競走の日であつたが、それでも今では此所で賣つた數は有料入場者全體の半分に足らなかつた、休みは六日目に一度宛あります』

（右）綱引き　（左）假裝行列

成功デーの餘興

全市暗黑

昨夜の京城

送電はピッタリと停つて京城の全市は全く暗黑

共進會もモー後僅か五日と云ふ二十七日の夜八時に京城電氣株式會社

容して今を盛りの歡樂の最中、此夜から再度の開演をした演藝舘も電光が消えては何んの藝術もなく流石の天勝も施す術なく暫らくはバイオリンなどで客の足を止めて居たが停電も二時間を過ぎては看客の文句も入釜敷く人の出盛りの

時わけて宴酣なる靑樓も如きは又一段の大騷ぎどこもかしこも豫想せぬ損害と思ひ設けぬ珍談で天手古舞の大騷動を演じ出した

幸ひ家庭博覽會では**後庭に五百燭光の**ブランチャード**洋燈三個**も點せられてあるので琵琶、妓生の提灯競走等の餘興には何んの故障もなく五百餘坪の後庭は宛然晝を欺く明るさで**數千の觀衆の大喝采**裸二ツの儘は滯りなく大盛況を告げ全市暗黑の最中午後十一時明皎々裡に閉會した尚京電會社の話に由れば給水喞筒に故障を生じた爲全部の停電を見るに至つた次第で午後十一時五十分漸く一部の修繕を終り送電を見たが昨夜は島田電燈課長以下技術者徹宵修繕工事に從事し**再び如此失態なき樣十分に注意**すべしとの事也

生雲郵便局長 官金横領 廿七日拘引さる

山口縣阿武郡生雲郵便局長卜部三郎（五三）は二十七日山口警察署に拘引されたり事件は自己の保管に係る官金一千六百五十圓を昨年十二月以來横領せる爲めなり同人は元村長を勤め縣會議員たりしことあり目下資産數萬圓を有し居る由（門司特電）

家庭博と石龍子氏

石龍子氏は二十八日を以て鑑定の最終日とし二十九日出發の筈なりしも家庭博入場者其他の依頼者非常の多數に上りし爲め出發を延期し卅一日迄山本旅舘に滯在鑑定する事となれり尚家庭博入場者は前通り特別割引の筈

提灯大競走

二十七日の午後八時家庭博の大景氣にそゝり立てられた觀覽者踵を接いで來だした折も折正門のイルミネーシーンは勿論瓦斯を除く外一切の電氣が消えて終つた會場内は忽ち眞の闇になつたが時を移さず**數百本の蠟燭が各室に**點せられ提灯が吊されたので却つて面白い風情があつた、斯る中にも琵琶の番數が進んで九時過ぎから頗る奇抜な茶洞妓生組合の**妓生の提灯**競爭が九時頃から始まつた、紅提灯を持つた三十人の妓生が五人宛に分れて會場内の蠟燭の灯のゆらぐ中を競走する、之れが**六たび繰返へされて六人の選手**を出して**決勝戰**を行なつた、妓生があの**華奢な足**をひよこ〳〵浮かしながらまくし上げた裳を抱へて夢中になつて走り出すところは何とも言へぬ珍なもので入場者一同の間から**破れる樣な拍手**が起つた、實に面白い、腹を抱へる樣な滑稽なものであつた、**二十八日の夜は更に廣橋**妓生の同じ競走がある、茶洞が早いか廣橋がレコードを破るか是非一遍觀て置くべきものである

大福引

宛然寶の山に入る樣だ

ドーして斯うよいものが當るんでせうつて家庭博の大福引の今日此頃の當りの好い事と云つたらない、現金四圓の一等が當れば三越の自慢の吊紗、お米の一斗、お酒では正宗に縮緬やら一鶴やら臺所向きではバケツにお釜やら何やかや家庭博に來れば**宛然寶の山に入つた樣、**モウ**明日からアト三日**よりない**家庭博**は幾萬點と山の樣に積まれた景品は全部提供さるゝのだから當りつこのない事はない、別項臨時寄贈の番外景品は陸續として殖える一方だから今日からアト**三日の家庭博の大福引**の入場者は隨分面白く高價な當り籤が多い事であらう

寶探し

今二十八日も午後三時から

何と云つても面白くて興味の深いのは家庭博の寶探しだ、五百坪餘りの後庭に一等から十等までの木札を匿してあるのだから、探すと云つても譯はない、二十七日も午後三時から始まつたが却々の大人氣、竹片を持つて來て地を掘つたり庭園の草を引つこ抜いて見たり手當り次第に探しても見付からない人もあれば**坊ちやん嬢ちやん連れの奥樣**さ**女中が通り掛けに**一寸したものゝ上に置いてあつた寶札を探し當てるのもある、昨日の寶探しには午後正三時に寶探しの鈴が鳴る前に探し出した人が三人もあつたが探し當てた二等と三等と七等とは無効となり今日の寶探しに増加さるゝこととなつた、だから**今日の寶探しは一等より十等までの上に尚二三等の追加**がある譯で一層探すのに興味のある次第、地の中を深く掘つても探し得ない人もあり探す氣のない人の眼に付く所に置いてあるのもありて此寶探し程面白いものはない、昨日寶探しの濟むだ比白水の仲居お安等の三人連が假裝して乘込んで來たのは一入の興であつた

寶探し、妓生提灯競走、大福引 ―本日の家庭博―

京日案内

普通　一回前金三十錢（無割引）一回每に金五錢増

鮮人外交員拾名募集す 廿五歲以上履歷書携帶を要す報酬は面談 京城壽昌洞一九六 新文社 820

店員 三名採用志望者確實保證人二名要す午後一時より二時迄來談 黃金町二丁目 シンガーミシン會社 816

和服裁縫男女見習並に小僧入用 希望者は來談あれ 南大門通五丁目廿九番地 野澤裁縫所 電話一〇三二番 817

見習生入用 十三歲以上十六歲以下希望者は 黃金町時計御商 喜多金光堂へ（電話一〇一五番） 786

古本▲雜誌▲新聞▲書籍買入▲電話三五七番 振替武武參 京城本町 ウツボヤ書籍店 747

女中口入 官舍、商家、旅舘 京城明治町 萬年社 電話一八四四 620

店員入用 十六七歲廿三迄希望者は保證人二名要す 旭町市場 電話二四二二番 水産物問屋 吉川商店 811

店員解雇 森山幸一義今般都合に依り解雇致し候 京城南大門驛前 松原運送店 805

貸金 官吏會社員の御方へ小口信用秘密融通御一報次第伺上候 京城和町三、不老泉前横丁 起木屋 814

番外　一回前金六十錢（無割引）一回每に金十錢増

橘流 琵琶出教授 初心者歡迎希望者は端書又は左記へ來談ありたし申込所 京城大和町一丁目 靑鮮堂 815

齒科 龍山榮町通六廿番地 龍山齒科醫院 819

京城南大門通五 御大典奉祝用旗 代價廿五錢 御大典祝用旗發賣元 五十錢 十枚以上の申込に限り送料不申受 818

成從 平壤栗 種子用 おろし 食用 小賣 特產 種子苗木 農具商 京城勸農園 電話七〇四 振替口座京城五六 798

葬式具 道具 無料貸し 棺箱骨箱 製造安價販賣 若草町御寺正門前 指寅 797

新炭 石炭 煉炭 たどん 小賣 卸し 大勉强 諸官衙 御用達 京城本町四丁目 稻垣炭新商店 電話二〇九三番 782

支那歐米雜貨品揃 確實安價 德興泰洋品店 京城南大門通一丁目廿二番地 779

家傳 りん病三日藥 婦人消渴にも特効 至る所に代理店あり 本町三丁目五十二番地 東京救濟院京城出張所 765

はねつぎ うちみ くじき等 一切の治療御依頼に應ず 明治町 柔術道場 685

大正五年度カレンダ代用 引札 年玉 進物 右暦本提供す此際至急外交員募集す 希望の方來談あれ地方は郵券七錢送れ見本呈す 京城黃金町三 藤本 807

提灯行列用篠竹賣出 菊花滿開 盆栽 草花 生花用 切花 澤山著荷 明治町東拓會社南隣 電話三四番 清香園 808

店員雇入 就業に經驗ある確實の者六名至急雇度し希望者は市内に保證人を要す 京城本町三丁目 海陸食糧品 森川商店 電話二九五 二〇九 813

皮膚病 花柳病 專門 永樂町商品陳列所坂の上 須古醫院 電話二一〇三番 802

來ル十月三十一日午後二時天長節奉祝ノ爲メ京城臺公園ニ於テ祝賀會擧行候條御贊成ノ諸君ハ左記ノ箇所へ申込相成度候也

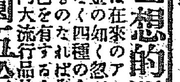
大正四年十月廿六日　天長節奉祝委員

記

一、申込所　京城商業會議所、京城日本人商業會議所、京城日報社、京城毎日申報社、朝鮮新聞社、京城支社、京城府廳、京城府龍山出張所

一、會費　五拾錢

◎十二金代用 理想的眼鏡



本品は在來のアルミ金又は鍍金の如く忽ち變色する憂なく四種の合金より成るものなれば先天的二十金色を有するを以て目下市内大流行品特價箱入中特に景品として同一金 壹圓五拾錢 メタル一個進呈 送料不用 質製に申込は引替小包にて急送す

東京日本橋區蠣殼町二ノ五番地 芳美堂支店 電話浪花四三六 振替口座三〇七四一

新刊書御案内

書名	著者	定價
戰に使して	楚人冠	一、六〇
野心論	澤柳博士	一、二〇
安價生活法	額田博士	一、八五
三島博士老子講義	三島中洲	一、五〇
江戸時代史論	歴史地理	二、四〇
最新養鷄法	中村先生	三五
受驗者用作文軌範	安達先生	四〇
日本農業道徳論	[illegible]	七〇
同情の力	南陽博士	一、二〇
女人國記	岳山	一、二〇
シュライルマッヘル獨語錄（個性の自覺）	木與了譯	七〇
俳諧新五萬句	伊達秋旋	一、八〇
縮刷金色夜叉	紅葉山人	一、二〇
獨乙と歐羅巴	加藤氏譯	一、二〇
幽芳集	菊池幽芳	一、二〇
自然論	エマスン	八〇
眞を慕ひて	大住嘯風	一、二〇
貧しき人々	ドストイエフスキイ	一、〇〇
日本一稻作法	戸上信次	八〇
井上英和大辭典	井上十吉	特二、三〇
熟語本位英和辭典	齋藤先生	特三、〇〇
作文本位英文法辭典	入江	特一、八〇

大阪屋號書店　京城本町　電話二〇八六　振替京城二五七

中國六縣於共進會 壹等賞金牌受領

大野式吸入瓦斯發動機

本機ハ一時間一馬力ノ動力七厘ニテ足ル
◎說明書郵券二錢送附アレ送呈ス
大阪市上福島仁西南上學校横 電話土佐堀壹貳五番 大野鐵工所

千生瓢 (25)

須藤南翠作　筒井年峰畫

雪消（一〇）

雲に紛ふ白山の雪より霽けて、三月七日の春の陽は、北庄の城壁を美しく彩つた。颯々と打ち鳴らす擬の太鼓の響きとゝもに、大手の門は一文字に開かれた。掃き清めたる大路小路、打水の痕砂を鎮めて、其處には獣の足跡も印されなかつた。三聲の法螺の音高く吹き上げられ、大太鼓の轟きわたるや、先づ大手の城門を出たのは、先陣の將軍佐久間玄蕃允盛政であつた。五千の軍勢隊を分つて、旗指物朝風に翩々と飜へし、堂々として進軍する。これに續いて能登國七尾城主、前田孫四郎利長、今年取て二十二歳、花の如き武者振麗しく、四千餘騎を引率して、整々として打つて出る。次に總大將の旗下、一の備は淺井吉兵衛則政の五百餘騎、二の備は宿屋七左衛門秉清の五百餘騎、其次には山田宗左衛門尉友澄の七百餘騎、引續いて越前本郷城主安井左近進家清が二千餘人、その次に加賀國御幸塚城主徳山五兵衛秀有の九百餘人、威風雄々しく進み行く。此次に旗本組の水野助兵衛國春が四百餘騎、吾彦彌五郎秀住が四百餘騎の兩隊。その次に當國勝山城主柴田三左衛門尉勝政、六千餘人を以て進み、續いて佐久間久左衛門尉安次、舍弟源六郎質政の四千五百餘人、其次に加賀國尾山城主、原彦次郎氏次の二千五百餘人、次に續いて越中國木森城主、不破彦三元治の二千餘人。その次に拝郷五左衛門久光の二千餘人。此人馬の全く出て了りたる後より、佐々陸奥守成政、總勢一萬三千餘人を以て進む。その次には金森五郎八入道の四千餘人が續くのであつた。此より本陣とあつて、柴田權六勝久、三千餘人を以て前驅となり、次には總大將柴田修理亮勝家、七千五百有餘の直甲を随へ、金幣束の馬標を春の朝陽に輝かして、打ち出る軍容、正々堂々として、對ふ所敵なき猛威、赫々として四方を壓するのであつた。近習には一騎當千の英雄、毛受勝助家照、同苗久右衛門照景、松平甚兵衛則高、中村與左衛門武次以下、物具いかめしく一著なし、打物執つて馬を行る。總勢凡六萬有餘、九十九橋をうち渡つて、近江路さして打て出る。風雲の變を望んで、加賀能登の間に潛れて在た浮浪人ども、勝家愈々旗を出すと聞くや、我も〳〵と馳せ著けて、あはれ軍忠を抽で、所領一箇所にも有り付かうものと、加勢する者少なからず、青木勘兵衛、原勘七郎、戸島猪兵衛、鷲見源次郎、職貝九郎作、無屋新七の面々、打伴れて加はつたので、浪人組ばかりでも二百餘人に上つたのであつた。後陣は當國府中城主、前田又左衛門尉利家、五千七百餘人を以て承はる。但し病中なるを以て、進發は十二日頃と定められた。北庄の留守には、兒島若狹守詠全を大將として、勝家の從弟、柴田彌右衛門勝次、樋口半左衛門、中村久兵衛、同く文荷齋、同く一露齋を始として、宗徒の郎等五千餘人、皆心を一つにして持ち〳〵を固めて居た。

勝場が乘馬は太く張つてゐた。動ともすると、引かけて逸れようとするを、乘り据ゑ〳〵進んだが、淺水の橋を渡る時、馬前二丁餘りに立てさせた旗が、風もないのにぽつきりと折れて、旗は端なく川水に浸つた。是を見た勝家はさつと顔色を變じた。毛受勝助その樣子を見ると、馬脇に進み寄つて、

我が君は水の底まで打靡け

と口吟んだ。同苗久左衛門も取敢へず、

鰭をれかゝむ浪の鱗

と附けた。兄弟が即興に轉じ換へられて、勝家も面の雲りを晴れ〳〵と、うち微笑むで進むのであつた。

十六里を二日に打つて、翌八日の夕刻には、盛政は柳ケ瀬に陣を布いた。前田利長も、東西五十餘丁の間に放火して、押並んで陣を取る。長濱は殆ど指顧の間にあるのだ。

◉畫家の見た共進會と家庭博（三）

矢尾大華畫伯

共進會の蹈りを家庭博に家庭趣味を研究するのも自分に取つては此上もなき樂みであつた。締切られた器械室から編輯室の前を段階上に上ると、そこには臺所の裝置と其隣に湯殿があつて瓦斯萬能の說明を見て女中部室から夫人室四疊半臺所寢室主人書齋來賓室或は家庭娯樂室等質に注意周到なる裝飾と結構なる設計は吾人をして批評の餘地を與へなかつた中でも娯樂室や四疊半臺所來賓室等はよかつた一體に吾々の家庭趣味には暗ひ者にまで確かに或る好印象を與へて居る内地では家庭博子供博等種々の催しが度々あるが朝鮮に於ては共進會の始めあると共に日報社主催の家庭博が最初であつて而もこれだけ整頓したるものを公衆に示すのであるから日本人は本より日本趣味に迎合しつゝある朝鮮人には定めし強ひ力の印象を與へ將來朝鮮家庭に餘程の利益を與へることゝ思ふ子供の抱き方の型などは直ちに利益して居る殊に吾人の視線を引いたのは陳列された半切遺書であつた其れが又た大に華を咲かせて居ると思ふ共進會の美術參考館より此の方が數等立派なものだ小品ではあるが中央畫壇の勇將猛卒等の作品があつて新らしい血がこの寸紙の間を流露して一種云ふべからざる力がある先づ村岡應東の天女小山榮達君の四幅東都畫壇に奇形兒の如く評されて居る自由人草、其から鴨下晁湖君の蛇遣ひ、術道人の伊藤順三君のつゝじに處少々奇抜過ぎるが面白味がある技工としての逸品では椿山派の大家益頭俊南の芭蕉竹あり佐藤紫烟の竹と梅あり鳥居幡山の山水數幅宗星石の山水物中の佳作で共進會美術參考館より餘程振ふて居ると思ふそしてどき作品が遺つて惡ひものからどん〳〵賣約済みになつて居る所等は實に珍だ

◉二十三萬圓の慈善券　毎年ライオン齒磨本舗にて全國の孤兒院、養老院、盲啞學校、其他各種の慈善團體へ寄附する金額は僅かにライオン齒磨の小袋入に添附したる一厘の慈善券なるが夫れが一年の賣上高に積ると洵に大きなものにて最近報告の前年度丈が二千十六萬七千四百十九袋にして之れ慈善券の金額に引き直せば二萬零一百六十七圓四十一錢九厘になるといふ向ほ聞く所に據れば同店が慈善券を發行してより此報告が第十四回にて毎年の總慈善金額通計二十二萬四千八百十五圓十五錢一厘の巨大數に達する由

▲廣告▼

擊劍具　銃槍　並ニ柔道着　陸海軍諸學校　軍人會　青年會　御用　●定價表進呈　廣島市堀川町　製造卸　堀田榮助　振替口座大阪一〇八番

壹壜試よ　能恐らく類ならん　無效實驗者證明　目藥　一點水（いつてんすゐ）よくきく　●論より證據用はデキ判ります　東京築地二ダイカ商會　●各藥店にあり　早試小壜十錢

速に牛劑を試みよ　効能恐らく無類ならん　滋強丸　實驗狀多數　靈能　服用者の實驗告を供高覽　神經病系衰弱　腦病　●健忘　●不眠　●ヒステリー　病後衰弱　陰萎　早漏　遺精　滋養強壯　健康なる人も之を服せば效に爽快　英氣を精神に試よ　東京築地二ダイカ商會

御大典の期日切迫して參りました、千載一遇の御大典には必らず此萬歳旛を掲揚して奉祝せねばなりませぬ時機を逸せぬ樣に御注文を希望します

萬歳

萬歳奉祝會　朝鮮一手販賣　京城日報社代理部　振替京城三〇〇番

萬歳旛頒布定價表

記號	名稱	品種調製概略	寸法（曲尺）	一流の價格	郵送料
い	奉祝掲揚旛	甲　金巾製捺染文字鈞金具付	巾一尺六寸　長三尺二寸	六拾錢	十二錢
		乙　同　兩面上製	巾一尺六寸　長三尺二寸	一圓十錢	十二錢
		丙　絹綿交織豊錦金文字鈞紐金具付	巾一尺六寸五分　長四尺	五圓	十八錢
		丁　純絹別織同上特製	巾一尺六寸五分　長四尺	八圓五十錢	十八錢
		戊　同　特別製大形	巾三尺　長八尺	三十圓	三十錢
ろ	記念掛額	純絹羽二重製金文字	巾五寸六分　長一尺一寸二分	五十錢	三十枚迄拾二錢
は	奉祝佩用旛	純絹羽二重製鍛形ピン付	巾一寸三分　長二寸七分	二錢	八百枚迄十二錢
に	奉祝小旛	金巾製捺染白文字	巾七寸五分　長一尺三寸	四錢	六十枚迄十二錢
ほ	特製劍付塗竿	黒塗手段巻竿銀色劍付	長五尺五寸	一本一圓五十錢	十八錢

御大典奉祝用萬歳旛の義製造と運送上の都合に依り愈本月廿五日限り豫約を締切る事に致し候間御希望の御方は此際至急御申込被下度候

追て現品は本町ロシヤ物産商會鐘路韓盛商會及明治町村山商行へ陳列致し居り候間便宜最寄へ御申込被下度候

天覧

世界の變局

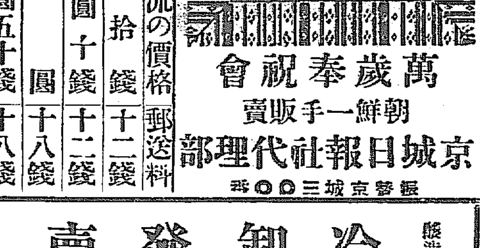
蘇峰　德富猪一郎著　第五版發賣　定價二圓五拾錢

▼是れ評論的述作の最も權威ある者也（日本及日本人評）
▼眞に近來の奇著快著と云ふべき也（時事新報評）
▼熱誠の氣磅礴して句々誦すべし（報知新聞評）
▼好主人の好題目を捉へたる者也（東京日日評）
▼所謂鸚鵡的飜譯的の書にあらず（東京朝日評）
▼著者以外に聽く可らざる經國論策也（實業之日本評）

賣捌所　▲郵送料本社負擔▼　京城太平通一丁目　振替京城三〇〇番　京城日報社代理部

水銀　新荷著　保税品有　京城本町二丁目　釘本藤次郎本店　電話長四五番二七七四番

冷卸發賣　大阪府堺市　製造發賣元　肥塚源次郎



京城本町二丁目　特約販賣店　佐藤牧太郎　同本町三丁目　特約販賣店　明治屋支店

日本郵船仁川出帆
〇大連太沽牛莊行　三河丸　十一月八日　正午出帆
相模丸　十一月三十日　正午出帆
〇大連、太沽行　高砂丸　十一月廿二日
仁川海岸町一丁目　電話十一番　堀回漕部

朝鮮郵船
全羅丸　十一月四日　京畿丸　十一月十四日　黄海丸　十一月廿九日　咸鏡丸　十一月八日　門司より釜山各港寄港雄基間ごと　釜山發
穩城丸　十月三十日　昌平丸　十一月三日　鏡城丸　十一月五日　元山より各港經由雄基行　元山發
能登丸　十一月十日　忠清丸　十一月一日　城津、清津、油國行復航會寧山經由門司　元山發
永興丸　毎月廿八回　北久珠、五里浦行又は長崎延長　元山發
嘉島丸　十月三十日　甘浦、九龍浦、浦項各港寄港鬱陵島行　釜山發
江陵丸　雲陽丸　毎日　長生浦、方魚津寄港　釜山（浦項）發
三浦丸　十一月　日　長承浦、統營、巨文島、濟州島各港行　釜山發
海州丸　巨濟丸　統營丸　慶賢丸　毎日　各港經由麗水行　釜山發
順天丸　三日目毎　各港經由麗水行麗水より釜山行に接續　木浦發
慶興丸　十月三十日　各港經由濟州島行（西廻）　木浦發
公州丸　十一月二日　南多島海列島行（月三回）　木浦發
公州丸　十月　日　各港經由濟州島行　木浦發
永信丸　十月廿九日　濟州島各港經由、鎭南浦行　仁川發
江原丸　十月　日　芝罘、大連、青島行　仁川發
龍水丸　晉州丸　十月廿九日　十一月二日　各港經由木浦行　仁川發
全州丸　南陽丸　毎日午前　江華島、椒島、海州行　仁川發
平安丸　十一月十六日　十一月十三日　往航大黑山、木浦、門司、若松行　復航門司、木浦、群山行　群山發　若松發
本社　京城南大門驛前　京城荷客取次店　松原運送店（電話一七〇番）

共同汽船仁川出帆
〇第一共同丸　芝罘、大連行　十月　日　午後二時入港　前九時出港
〇第一成鶴丸　城津、清津、浦項行（元山出帆）　十一月四日　後九時出港
第三共同丸　西湖津沿岸各港を經て雄基行（元山出帆）　十月　日　前八時出帆
阿波國共同汽船株式會社　本町一丁目（電話一〇八番）　山下回漕部　仁川代理店　田口回漕部　元山代理店　京城取次店　河村運送店

汽船釜山出帆廣告
〇門司、神戸、大阪行　小倉丸　十月　日　後五時出帆
〇元山城津浦項行　小倉丸　十一月四日　後十時出帆
〇門司、神戸、大阪行　立神丸　十一月九日　後五時出帆
〇元山、清津、浦項行　立神丸　十月　日　後十時出帆
〇元山、西湖津、新浦、城津、浦項行　第三琴平丸　十一月十一日　後九時出帆
〇門司、宇品、神戸、大阪行　第三琴平丸　十一月二日　後六時出帆
〇佐須奈、嚴原、壹岐、博多行　天長丸　毎月二日九日十六日廿三日廿六日　午後十時出帆
釜山本町　大池回漕部

尼崎汽船仁川出帆
〇群山、木浦、釜山、下關、神戸大阪行　秀吉丸　十月　日後四時出帆　君が代丸　十一月　日後四時出帆　神代丸　十一月三十日　日後四時出帆　大有丸　十一月二日　日後五時出帆
〇第二太湖丸　群山、大阪行　土海丸　日後四時出帆
仁川海岸通三丁目　電話五十九番　高杉回漕部

大阪商船仁川出帆
〇群山、木浦、釜山、門司、神戸、大阪行　漢城丸　十一月六日　須磨丸　十一月三日　溫州丸　十月三十日　午後五時出帆
〇木浦、釜山、長崎行　安東丸　十一月九日　▲天智丸　十一月二日　午後二時出帆
〇鎭南浦、大連行　安東丸　十一月五日　天智丸　十月廿九日　午後二時出帆
〇群山木浦神戸大阪行　油頭丸　十月廿八日　午後五時出帆
〇群山、釜山、横濱行　千珠丸　十一月二日　チヨイサン丸　十一月十四日　午後四時出帆
〇大連直行　千珠丸　十月　日　チヨイサン丸　十一月八日　正午出帆
〇清津、浦潮行（元山出帆）　地久丸　十一月九日　神宮丸　十一月廿九日　▲城津丸　十一月四日　午後出帆
〇上海、基隆、打狗行（大連出帆）　基隆丸　十月廿九日　安平丸　十一月六日　午前十時出帆
御注意
仁川切符發賣所　大阪商船會社仁川支店
京城切符發賣所　内國通運會社支店